

2009 年
「人間ドックの現況」

公益社団法人
日本人間ドック学会
社団法人 日本病院会

はじめに

人間ドックが我が国に誕生して、56年を経ています。その間に人間ドックの形式も交通機関の発達と同様にスピード化が進み、一週間から二日ドックへ、更には日帰りコースの一日ドックが普及している現況です。

公益社団法人日本人間ドック学会・社団法人日本病院会予防医学委員会は、1959年（昭和34年）に一泊二日の短期人間ドックが発足以来、優良施設の指定と共にその利用状況を調査し、毎年発表してまいりました。

1985年（昭和60年）に行われた第26回日本人間ドック学会の宿題報告を契機として、人間ドック検査成績についても全国調査の必要性が認識されるようになりました。その後、毎年日本人間ドック学会の際に全国集計成績報告が行われ、26回目を迎えました。

全国集計の内容は日本人間ドック学会誌「人間ドック」並びに日本病院会雑誌に掲載し、機能評価認定施設並びに人間ドック指定病院長に配布しております。

このたび、第51回日本人間ドック学会学術大会の際に、人間ドック実施状況調査とともに全国集計成績の要点を抜粋して『人間ドックの現況』を作製し、ご希望の方々に広く配布することにいたしました。

なお、2004年9月より、人間ドックの名称を下記のとおりに変更いたしました。

一日ドック（一日病院外来ドック、日帰りドック、半日ドック等）

二日ドック（一泊人間ドックおよび三日以上ドックも含む）

今回の全国調査資料は一日と二日ドック合計で返信率は90.2%、対象の人間ドック受診者数は301万人で前年より約6万人増加しました。アンケート調査を始めた1984年は僅か41万人でしたが、以後年々増加傾向を示しております。

本資料が、人間ドックを実施している病院・施設の機能評価の一環としてご利用いただき、人間ドックの質的向上に役立つことを期待しております。

公益社団法人日本人間ドック学会

社団法人日本病院会

人間ドック指定病院・施設の現況

2010年1月現在

1. 人間ドック指定病院・施設および機能評価認定施設数

(2010年1月現在)

都道府県別一覧表

	二日	一日	機能 評価		二日	一日	機能 評価		二日	一日	機能 評価
北海道	6	2	7	石川県	9	1	1	岡山県	6	2	9
青森県	5		2	福井県	2	1	3	広島県	10	4	11
岩手県	5		2	山梨県	5	1	1	山口県	15		2
宮城県	1		5	長野県	5		7	徳島県	1	1	1
秋田県	5		1	岐阜県	4	1	6	香川県	3	1	5
山形県	2		1	静岡県	18	4	6	愛媛県	6		3
福島県	10	1	2	愛知県	7	4	15	高知県	2	2	2
茨城県	16	1	4	三重県	6	1	5	福岡県	30	7	9
栃木県	7	1	3	滋賀県	10	1	1	佐賀県	1		1
群馬県	16	1	5	京都府	21	3	10	長崎県	1		2
埼玉県	10	1	7	大阪府	18	10	19	熊本県	4	1	2
千葉県	35	4	8	兵庫県	20	2	5	大分県		2	3
東京都	47	24	41	奈良県	1		2	宮崎県	2		
神奈川県	26	7	15	和歌山県	3			鹿児島県	3	1	1
新潟県	17	3	3	鳥取県	2			沖縄県		1	4
富山県		1	1	島根県	1		1	計	424	97	244

合計 二日ドック指定施設数 424病院

一日ドック指定施設数 97施設

機能評価認定施設数 244施設

*二日ドック指定施設は一時休止、指定辞退した施設は含んでいない。

*二日ドック指定ベッド数は1,498室である。

*機能評価認定施設ベッド数は633室、別にホテルドック契約は856室である。

*機能評価認定施設では

一日のみ指定 66施設

二日のみ指定 3施設

両方指定 154施設

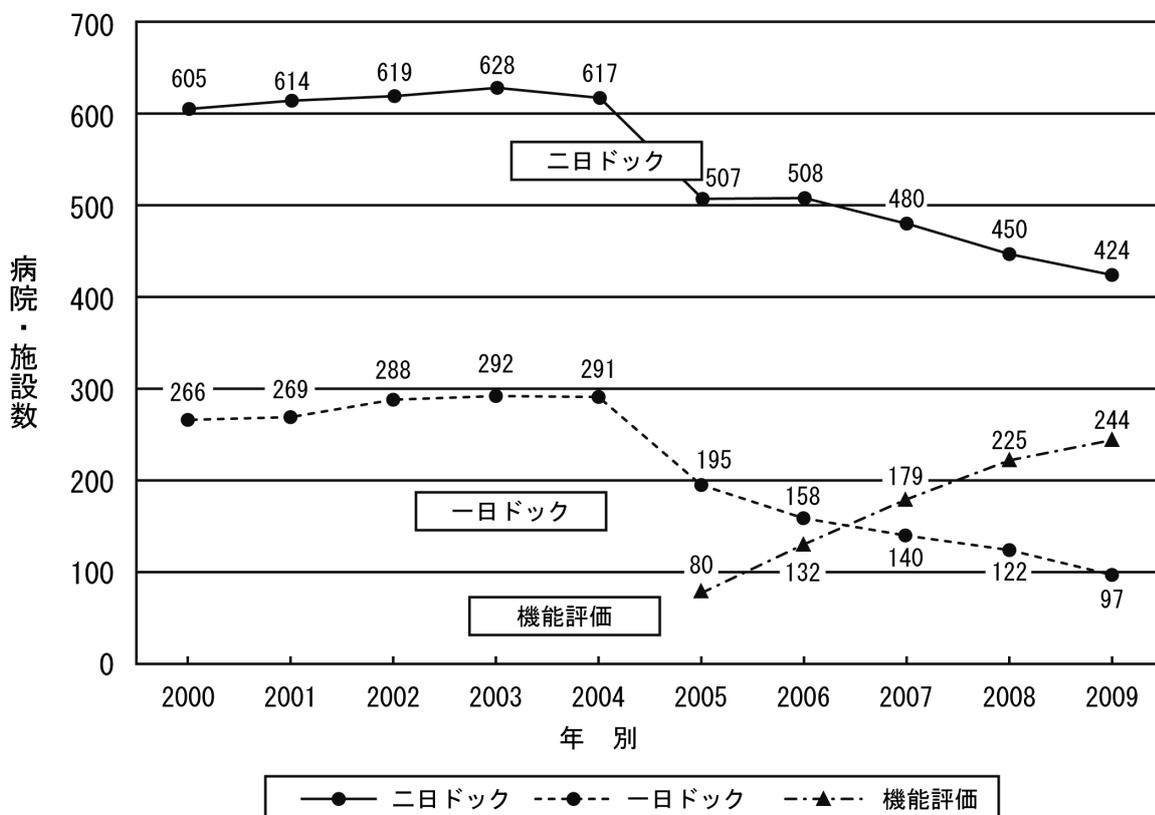
指定契約なし 21施設

合計 244施設

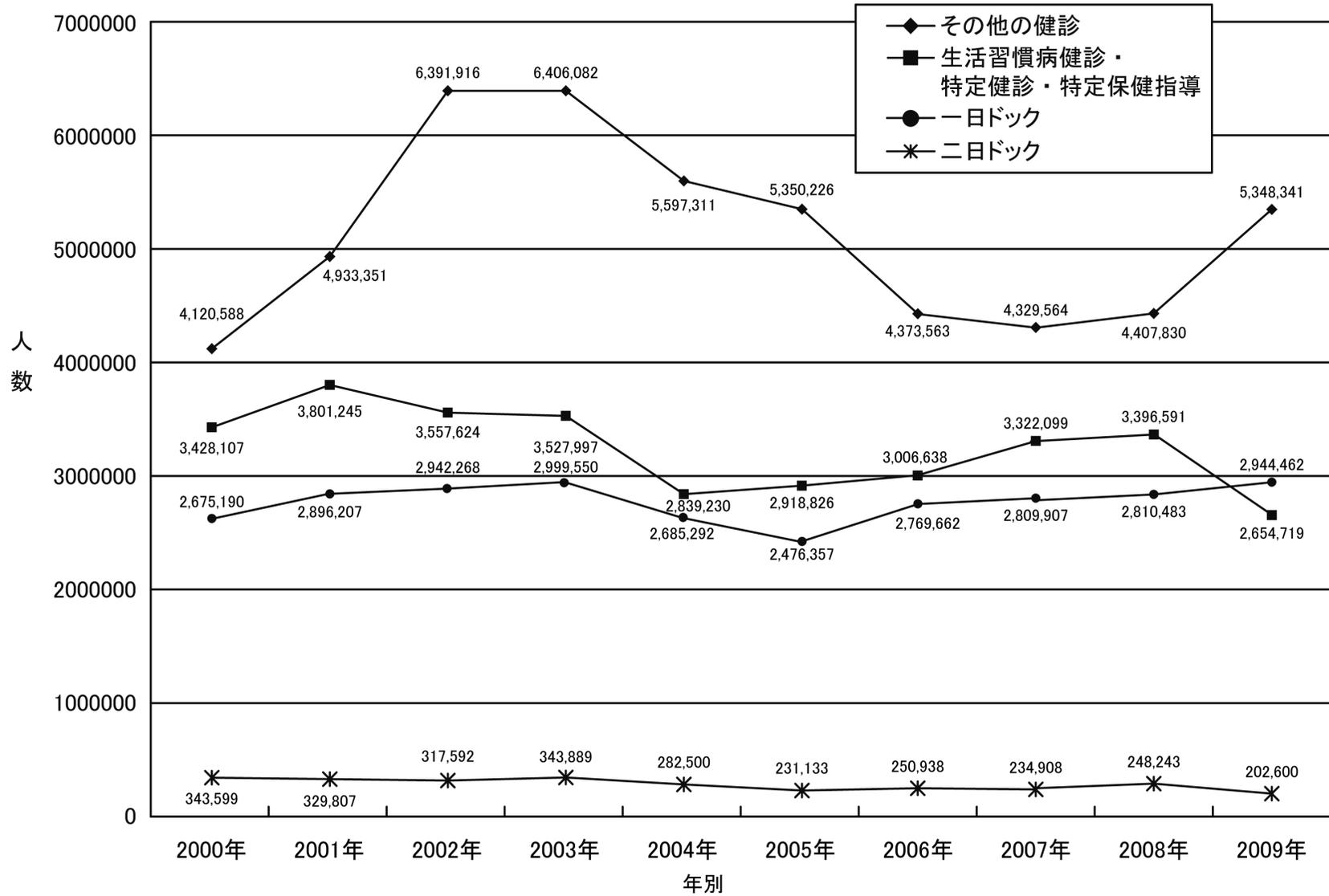
2. 人間ドック指定病院・施設 経営主体別一覧（2009年）

開設別	二日ドック		一日ドック		機能評価		開設別	二日ドック		一日ドック		機能評価	
	施設数	%	施設数	%	施設数	%		施設数	%	施設数	%	施設数	%
独立行政法人 (国立病院機構等)	3	0.7		0.0	2	0.8	船保会	2	0.5		0.0	5	2.0
その他公的		0.0		0.0		0.0	健保及び連合	5	1.2		0.0	2	0.8
国(その他)	1	0.2		0.0		0.0	共済及び連合	8	1.9	1	1.0	4	1.6
都道府県	3	0.7		0.0	2	0.8	国保組合		0.0		0.0		0.0
市町村	37	8.7	2	2.1	5	2.0	公益法人	36	8.5	40	41.2	50	20.5
日赤	26	6.1		0.0	14	5.7	医療法人	211	49.8	40	41.2	100	41.0
済生会	20	4.7		0.0	3	1.2	学校法人	7	1.7	4	4.1	6	2.5
北海道 社会事業協会		0.0		0.0		0.0	会社	3	0.7		0.0	9	3.7
厚生連	22	5.2	2	2.1	11	4.5	その他法人	13	3.1		0.0	9	3.7
国保連		0.0		0.0		0.0	個人	12	2.8	5	5.2	12	4.9
全社連	13	3.1	2	2.0	10	4.1							
厚生団	2	0.5	1	1.0		0.0	合計	424	100.0	97	100.0	244	100.0

3. 最近10年間の二日ドック指定病院，一日ドック指定施設および機能評価認定施設数の推移



4. 最近10年間の各種人間ドック・健診受診者数の推移



5. 人間ドック実施状況調査（2009年1月1日から12月31日）

(1) 二日ドック指定病院 424施設中376施設

(単位：人数)

種 別	利用者数	受診者数（2009年1月～12月）			2008年1月～12月
		男 性	女 性	計	計
二 日 ドック	総 数	63,839	23,194	87,033	84,872
	健 保 組 合 員 数 (総数より再掲)	19,110 (29.9%)	5,314 (22.9%)	24,424 (28.1%)	23,357
	特定健診同時実施者 (総数より再掲)	38,735 (60.7%)	13,312 (57.4%)	52,047 (59.8%)	30,719
一 日 ドック	総 数	433,087	302,733	735,820	593,385
	健 保 組 合 員 数 (総数より再掲)	168,142 (38.8%)	109,543 (36.2%)	277,685 (37.7%)	243,353
	特定健診同時実施者 (総数より再掲)	242,611 (56.0%)	163,704 (54.1%)	406,315 (55.2%)	188,316
合 計	496,926	325,927	822,853	678,257	
生 活 習 慣 病 健 診	298,526	191,331	489,857	516,466	
特 定 健 診 (国保及び健保等被扶養者)	63,325	127,591	190,916	110,521	
特 定 保 健 指 導 (国保及び健保等被扶養者)	4,204	1,770	5,974	1,294	
そ の 他 の 健 診	660,704	531,768	1,192,472	987,235	

(2) 一日ドック指定施設 97施設中87施設

(単位：人数)

種 別	利用者数	受診者数（2009年1月～12月）			2008年1月～12月
		男 性	女 性	計	計
二 日 ドック	総 数	14,484	6,548	21,032	20,272
	健 保 組 合 員 数 (総数より再掲)	8,201 (56.6%)	4,020 (61.4%)	12,221 (58.1%)	8,852
	特定健診同時実施者 (総数より再掲)	8,851 (61.1%)	4,092 (62.5%)	12,943 (61.5%)	7,305
一 日 ドック	総 数	390,963	259,392	650,355	562,983
	健 保 組 合 員 数 (総数より再掲)	220,509 (56.4%)	141,170 (54.4%)	361,679 (55.6%)	282,608
	特定健診同時実施者 (総数より再掲)	182,365 (46.6%)	116,857 (45.1%)	299,222 (46.0%)	156,739
合 計	405,447	265,940	671,387	583,255	
生 活 習 慣 病 健 診	384,005	173,414	557,419	449,712	
特 定 健 診 (国保及び健保等被扶養者)	83,317	97,436	180,753	64,367	
特 定 保 健 指 導 (国保及び健保等被扶養者)	6,425	2,209	8,634	4,612	
そ の 他 の 健 診	956,566	580,500	1,537,066	867,825	

(3) 機能評価認定施設 244施設中227施設

(単位：人数)

種 別		利用者数	受診者数 (2009年1月～12月)			2008年1月～12月
			男 性	女 性	計	計
二 日 ドック	総 数		71,372	23,163	94,535	97,870
	健 保 組 合 員 数 (総数より再掲)		28,493 (39.9%)	9,351 (40.4%)	37,844 (40.0%)	38,516
	特定健診同時実施者 (総数より再掲)		43,170 (60.5%)	16,718 (72.2%)	59,888 (63.4%)	35,994
一 日 ドック	総 数		937,168	621,119	1,558,287	1,370,496
	健 保 組 合 員 数 (総数より再掲)		523,636 (55.9%)	332,753 (53.6%)	856,389 (55.0%)	731,547
	特定健診同時実施者 (総数より再掲)		550,328 (58.7%)	360,233 (58.0%)	910,561 (58.4%)	570,604
合 計			1,008,540	644,282	1,652,822	1,468,366
生 活 習 慣 病 健 診			578,876	337,854	916,730	935,586
特 定 健 診 (国保及び健保等被扶養者)			115,562	173,676	289,238	150,443
特 定 保 健 指 導 (国保及び健保等被扶養者)			10,968	4,230	15,198	5,237
そ の 他 の 健 診			1,587,188	1,031,615	2,618,803	2,049,101

(4) その他施設 549施設

(単位：人数)

種 別		利用者数	受診者数 (2009年1月～12月)			2008年1月～12月
			男 性	女 性	計	計
二 日 ドック	総 数		27,998	9,970	37,968	36,216
	健 保 組 合 員 数 (総数より再掲)		9,222 (32.9%)	1,925 (19.3%)	11,147 (29.4%)	9,080
	特定健診同時実施者 (総数より再掲)		15,386 (55.0%)	5,852 (58.7%)	21,238 (55.9%)	12,458
一 日 ドック	総 数		269,926	185,172	455,098	403,570
	健 保 組 合 員 数 (総数より再掲)		122,708 (45.5%)	77,716 (42.0%)	200,424 (44.0%)	155,666
	特定健診同時実施者 (総数より再掲)		139,327 (51.6%)	85,593 (46.2%)	224,920 (49.4%)	140,359
合 計			297,924	195,142	493,066	439,786
生 活 習 慣 病 健 診			229,029	145,726	374,755	354,747
特 定 健 診 (国保及び健保等被扶養者)			63,984	131,851	195,835	123,810
特 定 保 健 指 導 (国保及び健保等被扶養者)			3,819	2,279	6,098	1,376
そ の 他 の 健 診			477,047	369,770	846,817	709,482

6. 人間ドック項目別成績調査の回答状況

(1) 二日ドック指定病院のアンケート返信数（2009年） —地域別比較—

ブロック	指定病院数	返信数	%
北海道	6	4	66.7
東北	28	24	85.7
関東・甲信越	184	159	86.4
東海・北陸	46	43	93.5
近畿	73	68	93.2
中国・四国	46	42	91.3
九州・沖縄	41	36	87.8
計	424	376	88.7

(2) 一日ドック指定施設のアンケート返信数（2009年） —地域別比較—

ブロック	指定施設数	返信数	%
北海道	2	2	100.0
東北	1	1	100.0
関東・甲信越	43	41	95.3
東海・北陸	13	9	69.2
近畿	16	14	87.5
中国・四国	10	9	90.0
九州・沖縄	12	11	91.7
計	97	87	89.7

(3) 機能評価認定施設のアンケート返信数（2009年） —地域別比較—

ブロック	認定指定施設数	返信数	%
北海道	7	7	100.0
東北	13	13	100.0
関東・甲信越	94	88	93.6
東海・北陸	37	36	97.3
近畿	37	31	83.8
中国・四国	34	34	100.0
九州・沖縄	22	18	81.8
計	244	227	93.0

(4) 施設別・アンケート返信内容の比較 (2009年)

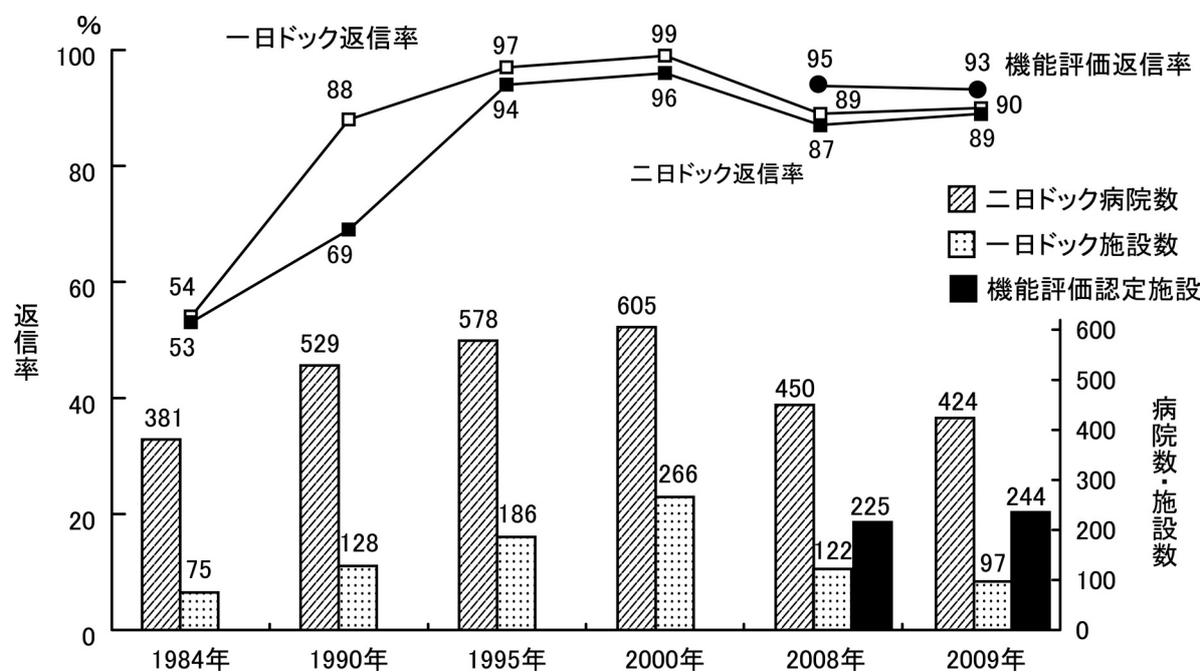
		総数	項目別統計返信数	%	がん症例統計 返信数	%
二日	指定病院	424	376	88.7	259	61.1
一日	指定施設	97	87	89.7	75	77.3
機能 評価	認定施設・病院	244	227	93.0	204	83.6
計		765	690	90.2	538	70.3

(5) 人間ドックアンケート調査返信施設の受診者数比較 (2009年)

(単位：人数)

	男性受診者数	女性受診者数	総受診者数	項目別対象 受診者数	がん症例対象 受診者数
①二日ドック	149,695	52,905	202,600	198,994	761
②一日ドック	1,761,218	1,183,244	2,944,462	2,809,951	6,546
合計	1,910,913	1,236,149	3,147,062	3,008,945	7,307

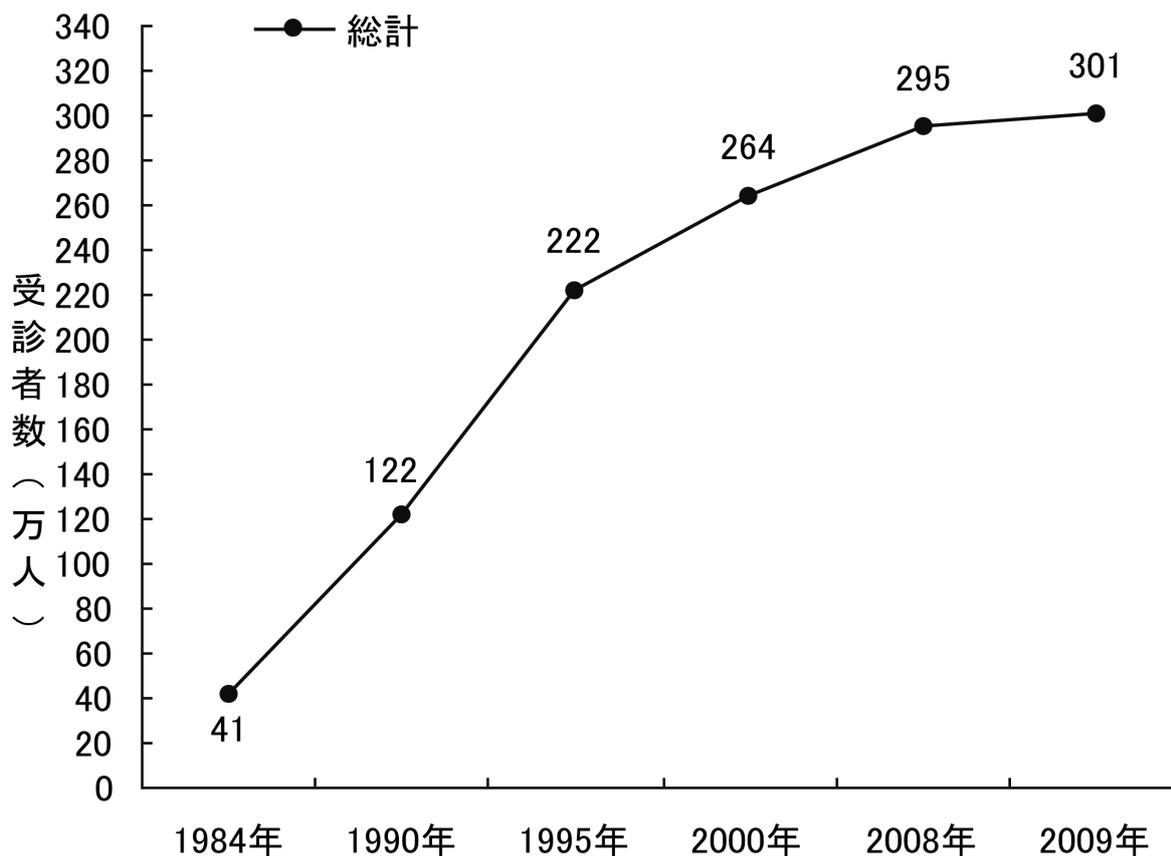
7. 日本人間ドック学会・日本病院会指定二日ドック・一日ドック施設ならびに機能評価認定施設のアンケート返信状況 一年別比較



8-1. アンケート調査による受診者数の動向 —年別・年代別比較—

調年	査別	年 代 別				計
		39歳以下	40～49歳	50～59歳	60歳以上	
1984年		89,045名	163,944名	127,122名	33,637名	413,748名
1990		243,227	487,834	365,661	126,764	1,223,486
1995		396,718	833,070	708,584	284,409	2,222,781
2000		461,812	850,601	928,881	394,410	2,635,704
2008		502,700	914,586	975,183	559,298	2,951,767
2009		490,265	932,663	960,841	625,176	3,008,945

8-2. アンケート調査による受診者数の動向 —年別比較—



日本人間ドック学会・日本病院会指定病院・施設および機能評価認定施設の実態調査（1～8）

1～2. 公益社団法人日本人間ドック学会・社団法人日本病院会指定の二日ドック指定病院数は424で、経営主体別に比較しますと、医療法人が全体の約半数近くを占め、次いで市町村、公益法人、日赤の順です。一日ドック指定施設数は97で、公益法人と医療法人が過半数を占めています。機能評価認定施設総数は244で、医療法人が約40%近くを占め、次いで公益法人、日赤の順です。

3. 最近10年間の二日ドック指定病院数は2004年まで横ばい状態でしたが、2005年より減少の傾向を示しています。

一方、一日ドック指定施設は順調に増加していましたが、2005年以後は減少しています。

また、機能評価認定施設（一日と二日ドック共に実施が過半数）の数が前年より19施設増加しています。

4～5. 最近10年間の各種人間ドック、健診受診者数の推移について、人間ドック指定病院・施設と機能評価認定施設、それ以外の日病会員病院を総合して比較してみました。

二日ドックは前年より減少、一日ドックは前年より増加し、人間ドックの総合計は約315万で前年より約10万人増加しています。生活習慣病健診は減少、その他の健診は前年より増加しており、健診と人間ドックを併せると約1,115万人（前年より約29万人増）に達しています。

6. 二日ドック指定病院の全国集計のアンケート返信状況を2009年について調査しますと、376病院より通知を頂き、返信率は88.7%（前年より+1.8%）となりました。

一日ドック指定施設のアンケート返信状況を調べますと、87施設より通知を頂き、指定施設の返信率は89.7%で、前年より1.2%増加しています。また、機能評価認定施設の返信率は93.0%を占め、前年より1.7%減少しています。

7. 二日ドック指定病院、一日ドック指定施設ならびに機能評価認定施設の調査票返信率を年別に比較してみました。二日ドック・一日ドックはともに前年より増加し、機能評価認定施設は2009年が若干減少していますが、総計では0.9%の増加です。

8. アンケート調査票から人間ドックの受診者数を年別に比較してみました。

返信数の増加につれ、受診者数は増加傾向を示し、今回は前年より6万人増加して301万人です。

2009年 人間ドック全国集計成績

I. 人間ドックの総合がん検診成績

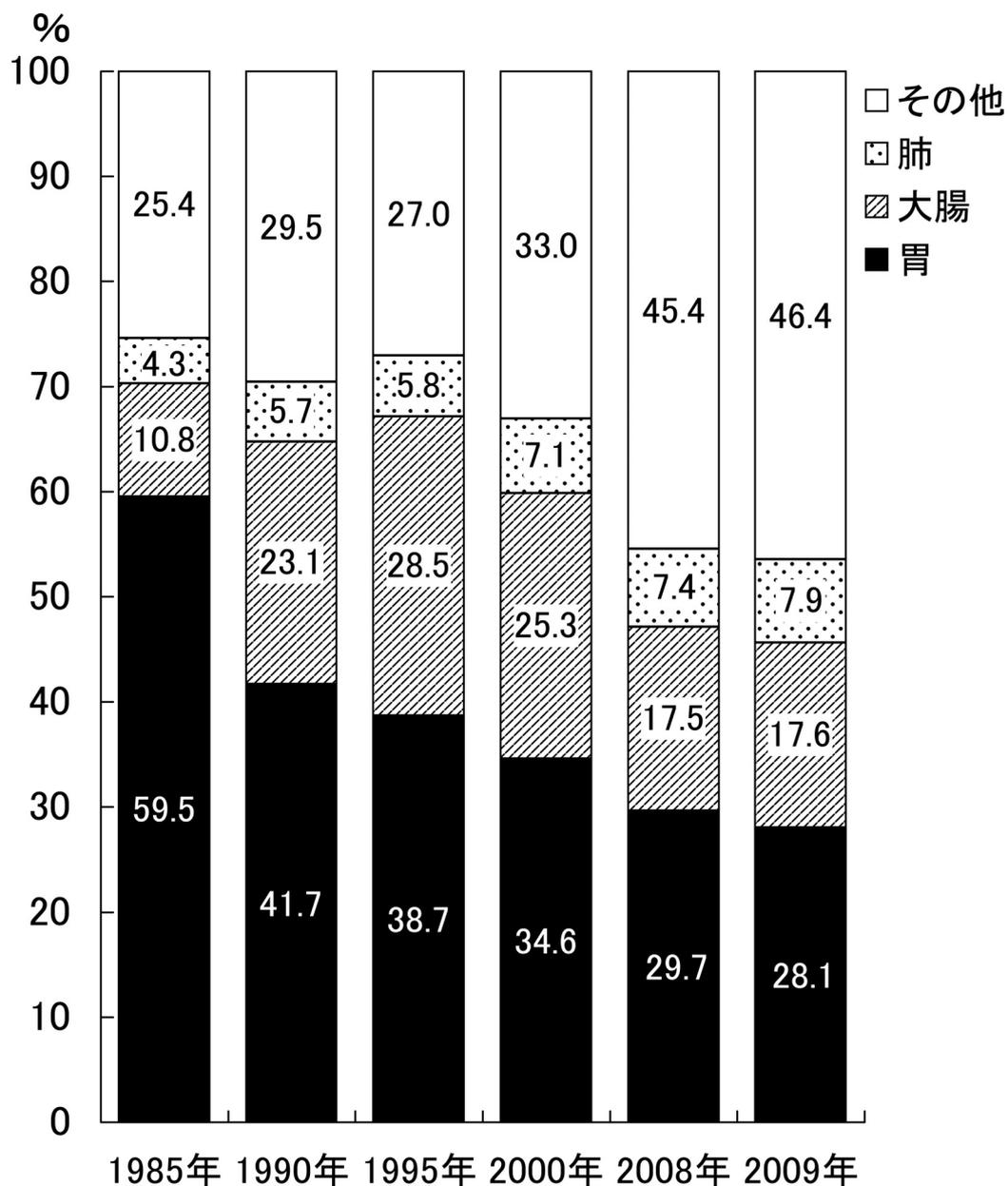
1. 人間ドックで発見した臓器別がん占有率の年別・性別比較

性別	臓器別	胃	肺	肝	結腸	直腸	食道	膵	胆のう	腎	膀胱	前立腺	甲状腺	乳房	子宮	その他	計
	年																
男性	1985年	322	20	22	46	14	13	7	6	3		6	5			26	490
		65.7	4.1	4.5	9.4	2.9	2.7	1.4	1.2	0.6		1.2	1.0			5.3	100.0
	1990年	793	99	91	347	120	42	15	21	84		6	18			61	1,697
		46.7	5.8	5.4	20.4	7.1	2.5	0.9	1.2	4.9		0.4	1.1			3.6	100.0
	1995年	1,266	168	79	613	318	111	30	20	114	28	49	21			44	2,861
		44.3	5.9	2.8	21.4	11.1	3.9	1.0	0.7	4.0	1.0	1.7	0.7			1.5	100.0
	2000年	1,563	290	97	714	409	175	46	26	159	66	303	44			89	3,981
		39.3	7.3	2.4	17.9	10.3	4.4	1.2	0.7	4.0	1.7	7.6	1.1			2.1	100.0
	2008年	1,690	369	87	647	276	242	45	25	214	79	521	85			134	4,414
		38.3	8.4	2.0	14.7	6.3	5.5	1.0	0.6	4.8	1.8	11.8	1.9			3.0	100.0
女性	1985年	75	9	4	8	4	2	0	0	0			5	22	43	5	177
		42.5	5.0	2.3	4.5	2.3	1.1	0.0	0.0	0.0			2.8	12.4	24.3	2.8	100.0
	1990年	218	39	9	67	26	4	7	12	21			61	119	112	30	725
		30.1	5.4	1.2	9.2	3.6	0.6	1.0	1.7	2.9			8.4	16.4	15.4	4.1	100.0
	1995年	290	67	11	163	51	7	4	12	40	5		64	208	190	48	1,160
		25.0	5.8	0.9	14.1	4.4	0.6	0.3	1.0	3.4	0.4		5.5	17.9	16.4	4.3	100.0
	2000年	384	107	15	203	95	10	20	8	35	9		129	362	212	58	1,647
		23.3	6.5	0.9	12.3	5.8	0.6	1.2	0.5	2.1	0.5		7.8	22.0	12.9	3.6	100.0
	2008年	445	160	15	236	94	33	32	11	50	18		165	1,153	241	111	2,764
		16.1	5.8	0.5	8.5	3.4	1.2	1.2	0.4	1.8	0.7		6.0	41.7	8.7	4.0	100.0
男女合計	1985年	397	29	26	54	18	15	7	6	3			10			31	667
		59.5	4.3	3.9	8.1	2.7	2.2	1.0	0.9	0.4			1.5			4.6	100.0
	1990年	1,011	138	100	414	146	46	22	33	105			79			91	2,422
		41.7	5.7	4.1	17.1	6.0	1.9	0.9	1.4	4.3			3.3			3.8	100.0
	1995年	1,556	235	90	776	369	118	34	32	154	33		85			92	4,021
		38.7	5.8	2.2	19.3	9.2	2.9	0.8	0.8	3.8	0.8		2.1			2.3	100.0
	2000年	1,947	397	112	917	504	185	66	34	194	75		173			147	5,628
		34.6	7.1	2.0	16.3	9.0	3.3	1.2	0.6	3.4	1.3		3.1			2.6	100.0
	2008年	2,135	529	102	883	370	275	77	36	264	97		250			245	7,178
		29.7	7.4	1.4	12.3	5.2	3.8	1.1	0.5	3.7	1.4		3.5			3.4	100.0
2009年	2,053	577	94	866	420	301	91	32	265	101		206			254	7,307	
	28.1	7.9	1.3	11.9	5.7	4.1	1.2	0.4	3.6	1.4		2.8			3.5	100.0	

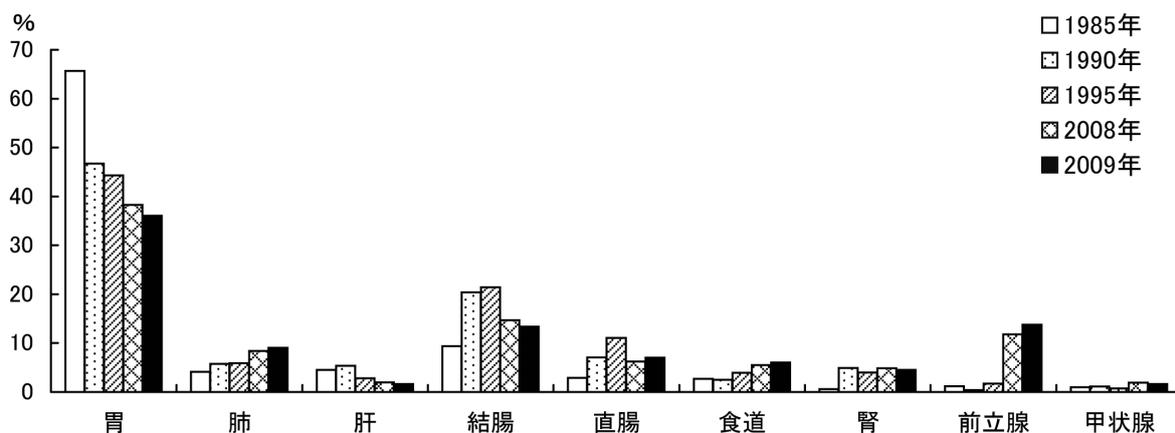
(注) 各年度の上段は実数で、下段は比率を示す。

2. 人間ドックで発見した臓器別がん占有率の経年変化

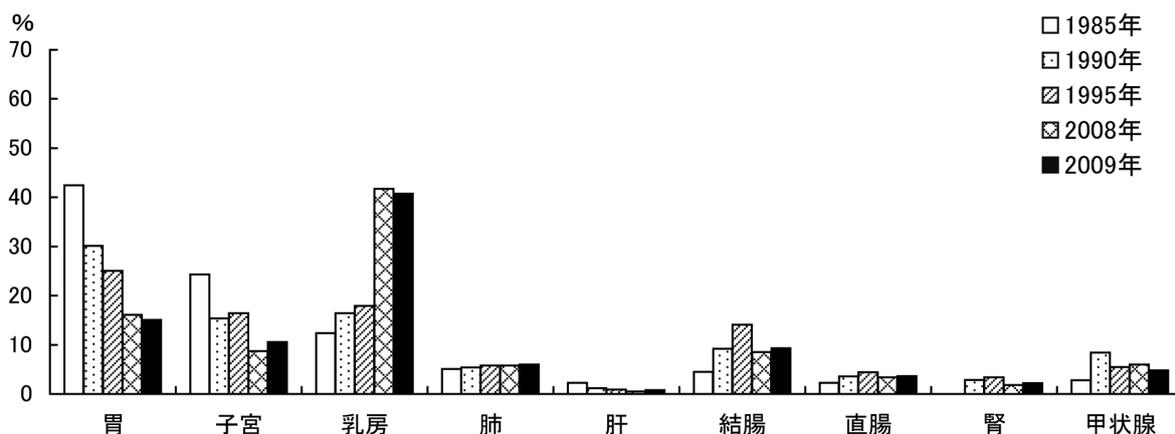
—全体のがんを100%として各臓器別の割合を表示—



3-1. 人間ドックで発見したがんの臓器別占有率 —男性の年別比較—



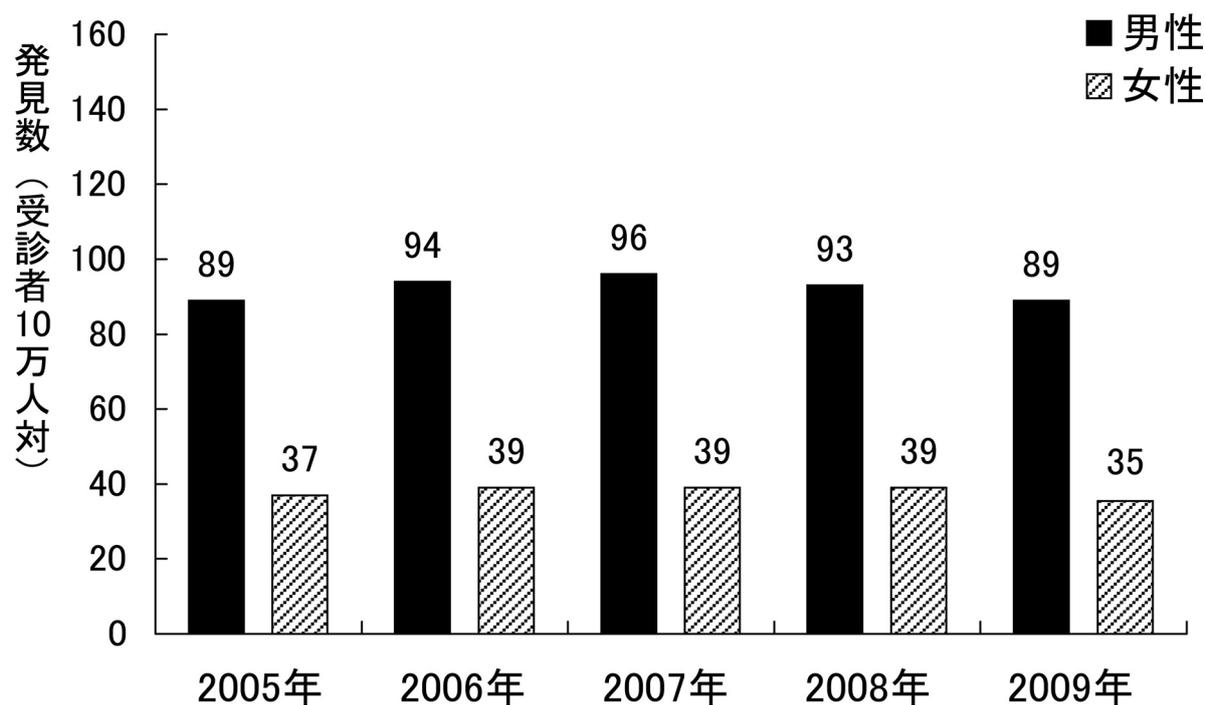
3-2. 人間ドックで発見したがんの臓器別占有率 —女性の年別比較—



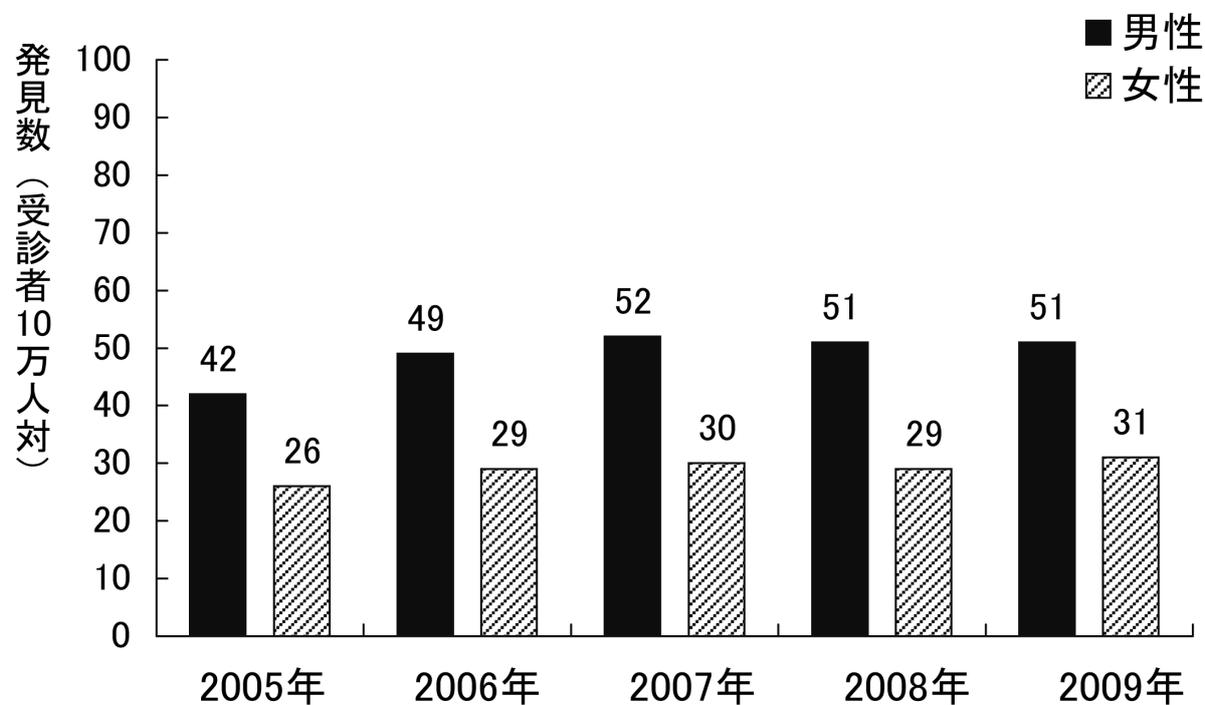
4. 最近5年間の主要臓器別がん発見数比較（10万人対）

	性別		胃	大腸	肺	前立腺	乳房	子宮	総受診者数
2005年	男性	症例数	1,488	705	395	409			1,672,410
		数	89	42	24	24			10万人対
	女性	症例数	368	259	143		732	255	999,234
		数	37	26	14		73	26	10万人対
	男女合計	症例数	1,856	964	538				2,671,644
		数	69	36	20				10万人対
2006年	男性	症例数	1,737	913	364	460			1,846,421
		数	94	49	20	25			10万人対
	女性	症例数	427	316	148		975	266	1,100,829
		数	39	29	13		89	24	10万人対
	男女合計	症例数	2,164	1,229	512				2,947,250
		数	73	42	17				10万人対
2007年	男性	症例数	1,774	964	405	515			1,838,970
		数	96	52	22	28			10万人対
	女性	症例数	434	343	176		1,015	274	1,125,443
		数	39	30	16		90	24	10万人対
	男女合計	症例数	2,208	1,307	581				2,964,413
		数	74	44	20				10万人対
2008年	男性	症例数	1,690	923	369	521			1,814,864
		数	93	51	20	29			10万人対
	女性	症例数	445	330	160		1,153	241	1,136,903
		数	39	29	14		101	21	10万人対
	男女合計	症例数	2,135	1,253	529				2,951,767
		数	72	42	18				10万人対
2009年	男性	症例数	1,635	925	410	625			1,828,925
		数	89	51	22	34			10万人対
	女性	症例数	418	361	167		1,130	292	1,180,020
		数	35	31	14		96	25	10万人対
	男女合計	症例数	2,053	1,286	577				3,008,945
		数	68	43	19				10万人対

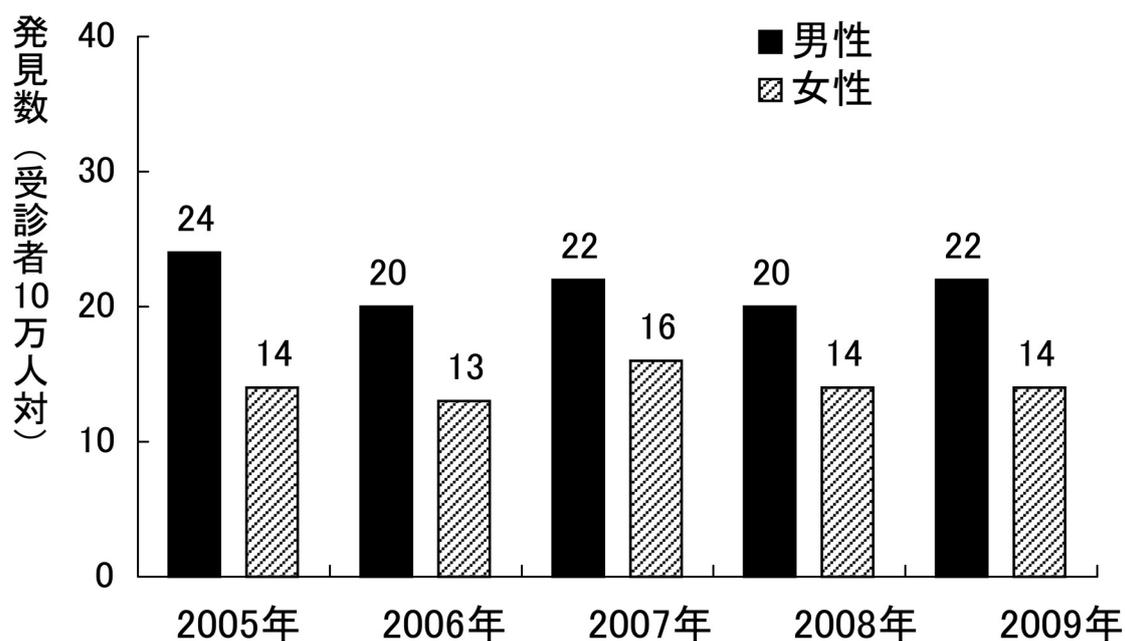
5. 最近5年間の胃がん発見数の比較



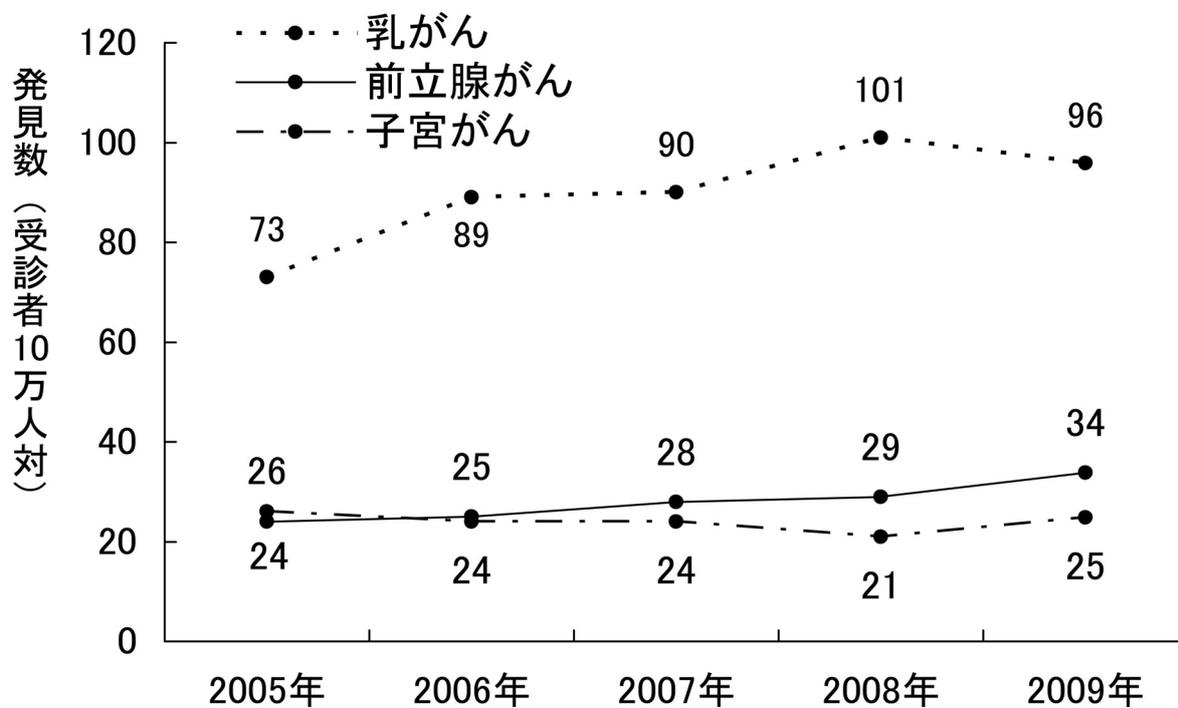
6. 最近5年間の大腸がん発見数の比較



7. 最近5年間の肺がん発見数の比較



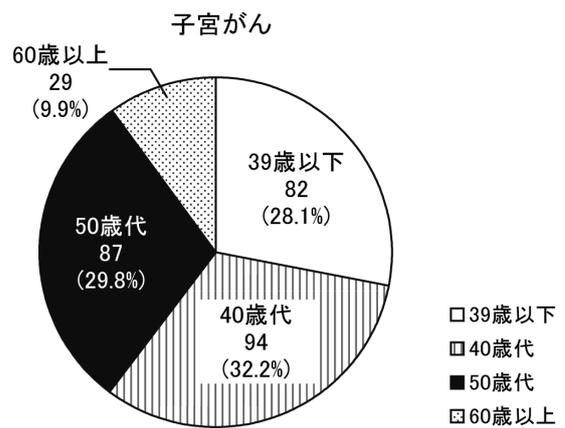
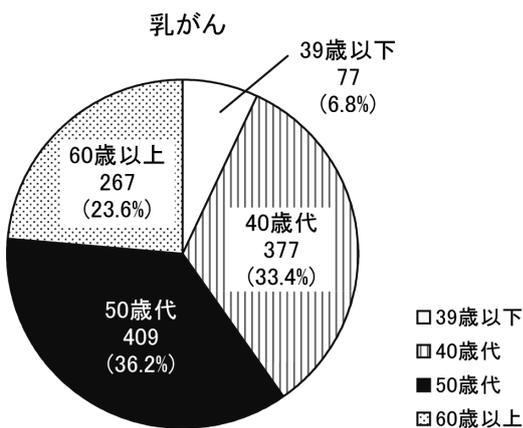
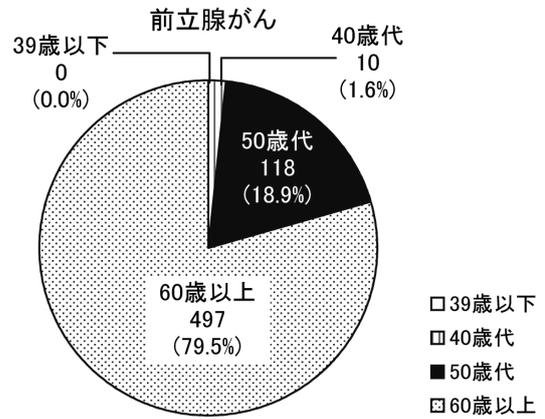
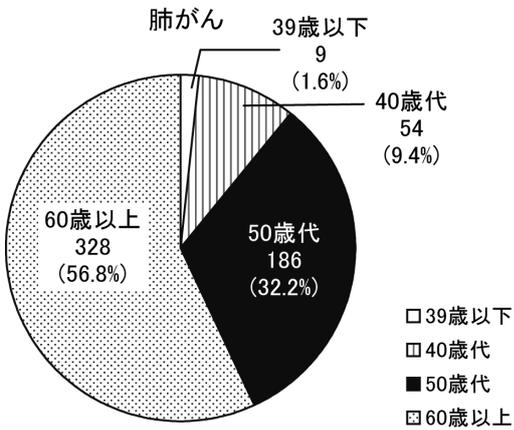
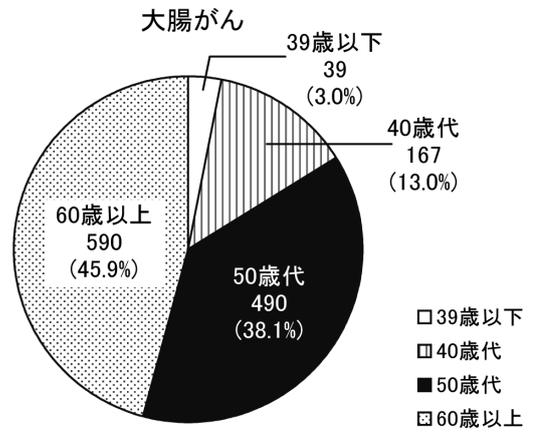
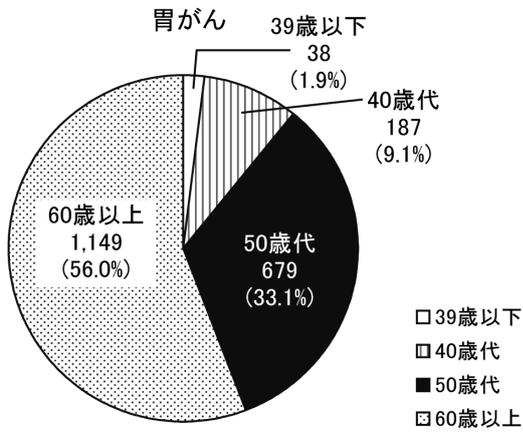
8. 最近5年間の前立腺がん・乳がん・子宮がん発見数の比較



9. 主要臓器別がんの性別・年代別占有率比較（2009年）

検討項目		性 別		年 代 別			
種 類	症 例	男	女	39歳以下	40歳代	50歳代	60歳以上
胃がん	症例数	1,635	418	38	187	679	1,149
	%	79.6	20.4	1.9	9.1	33.1	56.0
大腸がん	症例数	925	361	39	167	490	590
	%	71.9	28.1	3.0	13.0	38.1	45.9
肺がん	症例数	410	167	9	54	186	328
	%	71.1	28.9	1.6	9.4	32.2	56.8
前立腺がん	症例数	625	/	0	10	118	497
	%	100.0		0.0	1.6	18.9	79.5
乳がん	症例数	/	1,130	77	377	409	267
	%		100.0	6.8	33.4	36.2	23.6
子宮がん	症例数	/	292	82	94	87	29
	%		100.0	28.1	32.2	29.8	9.9

10. 主要臓器別がんの年代別占有率比較（2009年）



人間ドックの総合がん検診成績のまとめ（1～10）

1. 各年ごとに人間ドックで発見した総てのがんの発見数を100%として、各臓器ごとに占める割合（占有率）を性別に比較しました。
2. 各年ごとの臓器別占有率について、特に発見頻度の高い胃・大腸・肺がんの経年変化を調査しました。

発見頻度の最も高い胃がん占有率は年々減少傾向を示し、25年前に比して半減しています。大腸がんは、1995年以来増加に歯止めがかかっており、肺がんは微増傾向を示しています。従って、その他のがんの占める割合が2009年は46%であり、25年間で21%も増えています。

3. 人間ドックで発見した臓器別がん占有率を性別に比較してみました。その他のがんの増加理由は、男性の前立腺がん、女性の乳がんによることが明らかです。
4. 最近5年間の主な臓器別がんについて、性別に10万人対がん発見数の比較を行ってみました。
5. 胃がんは各年度共に2：1で男性が高く、2009年は前年より男性は4少なく、女性は同数です。
6. 大腸がんも胃がんと同様に各年度共に男性が高く、2009年は前年に比べ男性は同数、女性は2増加しています。
7. 肺がんも男性が女性より多く、2009年は前年より男性が2増加、女性は同数です。
8. 乳がんは近年発見数が増加していましたが、2009年は前年より5減少しています。前立腺がんの発見数は年々増加傾向を示しています。子宮がんは減少傾向を示していましたが、2009年は前年より4増えています。
9. 主要臓器別がんの性別・年代別の占有率を、2009年で比較してみました。
10. 胃がん、大腸がん、肺がんの占有率は、加齢と共に増加しています。前立腺がんは50歳以下には殆ど認められず、60歳以上が過半数を占めています。

乳がんは40～59歳で約70%と過半数を占めています。子宮がんは30～40歳代で約60%を占めており、50歳以上では加齢と共に減っています。

Ⅱ. 人間ドックの検査項目別成績

—生活習慣病関連を中心に—

1. 人間ドック受診者の検査項目別総合成績（2009年）

年代別	39歳以下			40～49歳			50～59歳			60歳以上			総 計					
異常なし (A + B)	人 数 (90,060)			人 数 (102,497)			人 数 (63,340)			人 数 (28,508)			人 数 (284,405)					
受診者数	受診者数 (490,265)			受診者数 (932,663)			受診者数 (960,841)			受診者数 (625,176)			受診者数 (3,008,945)					
判定 項目	C			D ₁			D ₂			C			D ₁			D ₂		
	肥 満	106,457	4,599	1,562	239,135	10,497	3,045	262,706	9,838	3,135	153,099	4,345	1,666	761,397	29,279	9,408		
呼吸器疾患	16,108	1,547	5,276	44,054	3,893	13,595	73,297	5,883	22,734	78,759	7,578	25,484	212,218	18,901	67,089			
高 血 圧	19,329	6,421	1,878	61,888	46,636	8,653	91,526	124,306	13,558	65,294	134,467	10,868	238,037	311,830	34,957			
高コレステロール	65,571	12,820	9,970	171,364	45,451	26,173	223,066	83,942	37,758	131,566	63,810	22,017	591,567	206,023	95,918			
高中性脂肪	41,619	7,175	5,340	101,859	24,533	13,938	113,965	39,043	14,494	61,201	30,367	7,314	318,644	101,118	41,086			
高 尿 酸	34,526	8,638	4,792	71,924	26,353	10,199	70,857	33,587	9,706	40,244	23,744	5,457	217,551	92,322	30,154			
心電図異常	22,721	1,149	5,733	51,008	4,636	14,160	74,978	13,866	23,194	68,398	22,970	23,397	217,105	42,621	66,484			
腎・尿路疾患	57,841	3,333	15,292	132,163	9,023	32,753	161,642	12,422	38,697	122,910	9,982	30,316	474,556	34,760	117,058			
食道・胃疾患	48,696	2,714	12,779	132,252	7,850	33,452	165,289	12,900	47,716	115,594	11,630	36,440	461,831	35,094	130,387			
十二指腸疾患	10,779	851	2,436	30,551	2,870	6,612	36,840	3,666	8,441	23,671	2,482	5,727	101,841	9,869	23,216			
胆石・胆のうポリープ	54,793	1,065	3,069	144,724	3,427	7,999	169,826	4,604	10,426	106,767	3,346	7,893	476,110	12,442	29,387			
肝機能異常	91,303	4,965	21,435	221,908	13,361	47,666	261,178	17,271	50,627	156,432	10,370	27,169	730,821	45,967	146,897			
その他の消化器疾患	24,312	732	6,523	66,014	2,086	14,327	85,062	3,250	18,802	59,200	3,012	14,885	234,588	9,080	54,537			
糖 尿 病	28,072	4,270	3,652	95,613	24,032	15,851	161,437	58,981	31,821	130,651	53,210	26,937	415,773	140,493	78,261			
血 液 疾 患	43,913	6,541	10,708	94,241	20,779	24,596	91,342	10,364	18,294	69,708	6,216	11,304	299,204	43,900	64,902			
血清梅毒反応	2,148	127	725	5,105	408	1,606	5,545	490	1,944	3,570	483	1,637	16,368	1,508	5,912			
リウマチ疾患	7,142	368	1,759	20,657	1,106	4,343	24,796	1,775	5,625	13,997	1,303	3,543	66,592	4,552	15,270			
眼 科	23,372	5,092	17,597	62,955	17,598	46,610	91,329	30,143	58,694	76,090	40,924	52,259	253,746	93,757	175,160			
肛門・大腸疾患	3,045	911	16,563	7,828	2,542	32,958	12,031	3,283	40,975	9,747	2,705	33,045	32,651	9,441	123,541			
前立腺疾患	609	216	563	3,388	477	969	8,785	2,180	4,572	10,773	7,092	9,389	23,555	9,965	15,493			
婦 人 科	16,100	3,332	5,414	42,211	7,756	11,634	35,693	4,926	7,667	12,977	1,678	3,017	106,981	17,692	27,732			
乳 房 疾 患	22,530	852	8,830	38,255	2,101	19,916	25,389	2,144	15,028	10,877	921	6,903	97,051	6,018	50,677			
その他の疾患	22,510	3,389	6,221	55,283	9,986	14,604	85,373	14,379	22,392	79,002	15,923	21,534	242,168	43,677	64,751			
合 計	763,496	81,107	168,117	1,894,380	287,401	405,659	2,331,952	493,243	506,300	1,600,527	458,558	388,201	6,590,355	1,320,309	1,468,277			

A…異常なし B…軽度異常なるも現在心配なし C…軽度異常あり生活改善し経過観察を要す

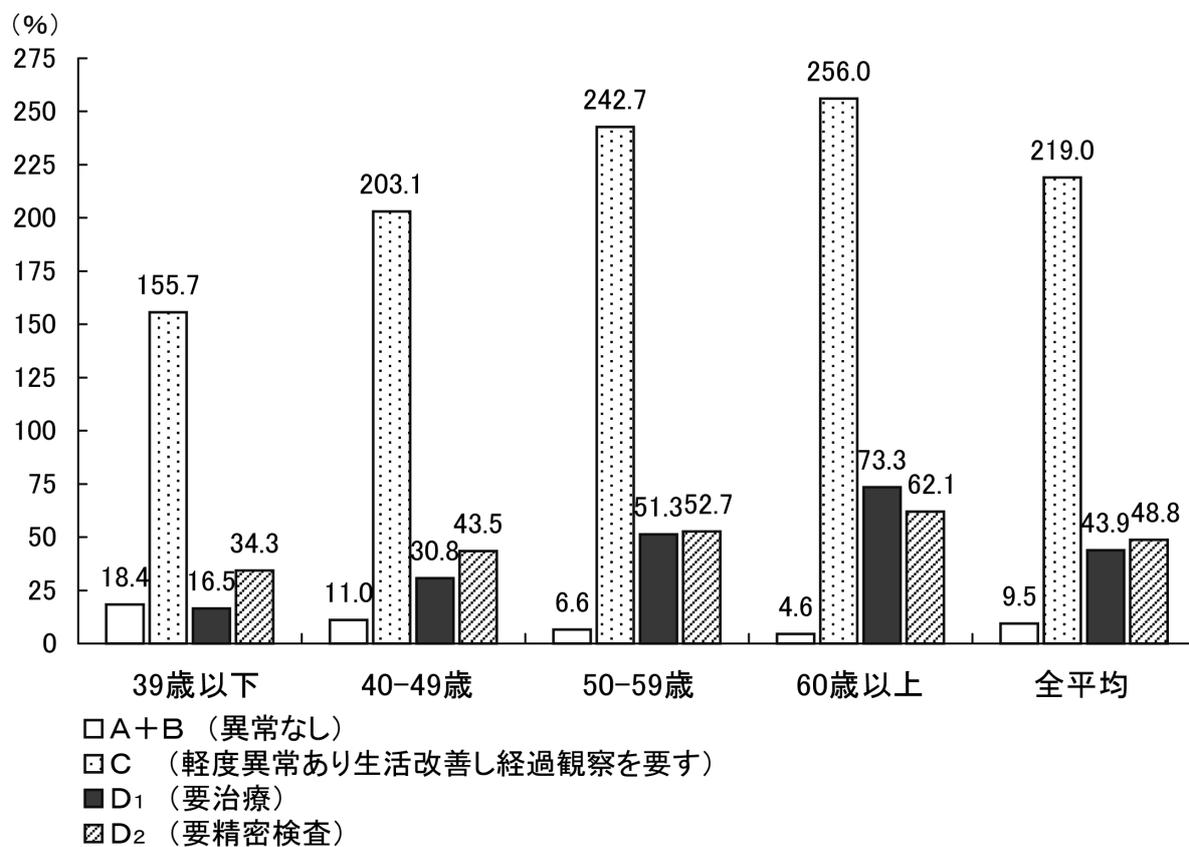
D₁…医療を要す D₂…二次精査を要す

2. 人間ドック受診者の判定別・年代別総合成績 —年別比較—

年 齢		39歳以下		40～49歳		50～59歳		60歳以上		計	
対 象 人 員	84	89,045名		163,944名		127,122名		33,637名		413,748名	
	90	243,227		487,834		355,651		125,764		1,212,476	
	95	396,718		833,070		708,584		284,409		2,222,781	
	00	461,812		850,601		928,881		394,410		2,635,704	
	08	502,700		914,586		975,183		559,298		2,951,767	
	09	490,265		932,663		960,841		625,176		3,008,945	
A + B	84	33,091	37.2%	51,056	31.1%	31,520	24.8%	7,531	22.4%	123,198	29.8%
	90	89,753	36.9	126,348	25.9	70,555	19.8	19,252	15.3	305,908	25.2
	95	116,025	29.2	146,432	17.6	89,953	12.7	26,985	9.5	379,395	17.1
	00	124,564	27.0	134,250	15.8	101,246	10.9	32,502	8.2	392,562	14.9
	08	96,333	19.2	98,995	10.8	61,240	6.3	25,491	4.6	282,059	9.6
	09	90,060	18.4	102,497	11.0	63,340	6.6	28,508	4.6	284,405	9.5
C	84	60,977	68.5	144,363	88.1	138,494	108.9	42,889	127.5	386,723	93.5
	90	221,465	91.1	589,054	120.7	537,320	151.1	215,160	171.1	1,562,999	128.9
	95	442,428	111.5	1,241,839	149.1	1,244,267	175.6	573,139	201.5	3,501,673	157.5
	00	597,505	129.4	1,491,844	175.4	1,879,169	202.3	918,878	233.0	4,887,396	185.4
	08	749,495	149.1	1,822,729	199.3	2,312,259	237.1	1,434,254	256.4	6,318,737	214.1
	09	763,496	155.7	1,894,380	203.1	2,331,952	242.7	1,600,527	256.0	6,590,355	219.0
D ₁	84	6,998	7.9	22,465	13.7	28,286	22.3	9,932	29.5	67,681	16.4
	90	18,002	7.4	64,407	13.2	76,211	21.4	35,200	28.0	193,820	16.0
	95	42,032	10.6	150,119	18.0	191,079	27.0	109,224	38.4	492,454	22.2
	00	62,761	13.6	193,434	22.7	311,855	33.6	186,569	47.3	754,619	28.6
	08	83,615	16.6	284,189	31.1	496,779	50.9	404,024	72.2	1,268,607	43.0
	09	81,107	16.5	287,401	30.8	493,243	51.3	458,558	73.3	1,320,309	43.9
D ₂	84	19,769	22.2	45,528	27.8	45,129	35.5	14,017	41.7	124,443	30.1
	90	58,624	24.1	160,702	32.9	146,031	41.1	62,766	49.9	428,123	35.3
	95	124,700	31.4	363,228	43.6	369,939	52.2	184,084	64.7	1,041,951	46.9
	00	146,407	31.7	376,882	44.3	497,193	53.5	254,015	64.4	1,274,497	48.4
	08	174,094	34.6	406,548	44.5	531,416	54.5	361,686	64.7	1,473,744	49.9
	09	168,117	34.3	405,659	43.5	506,300	52.7	388,201	62.1	1,468,277	48.8

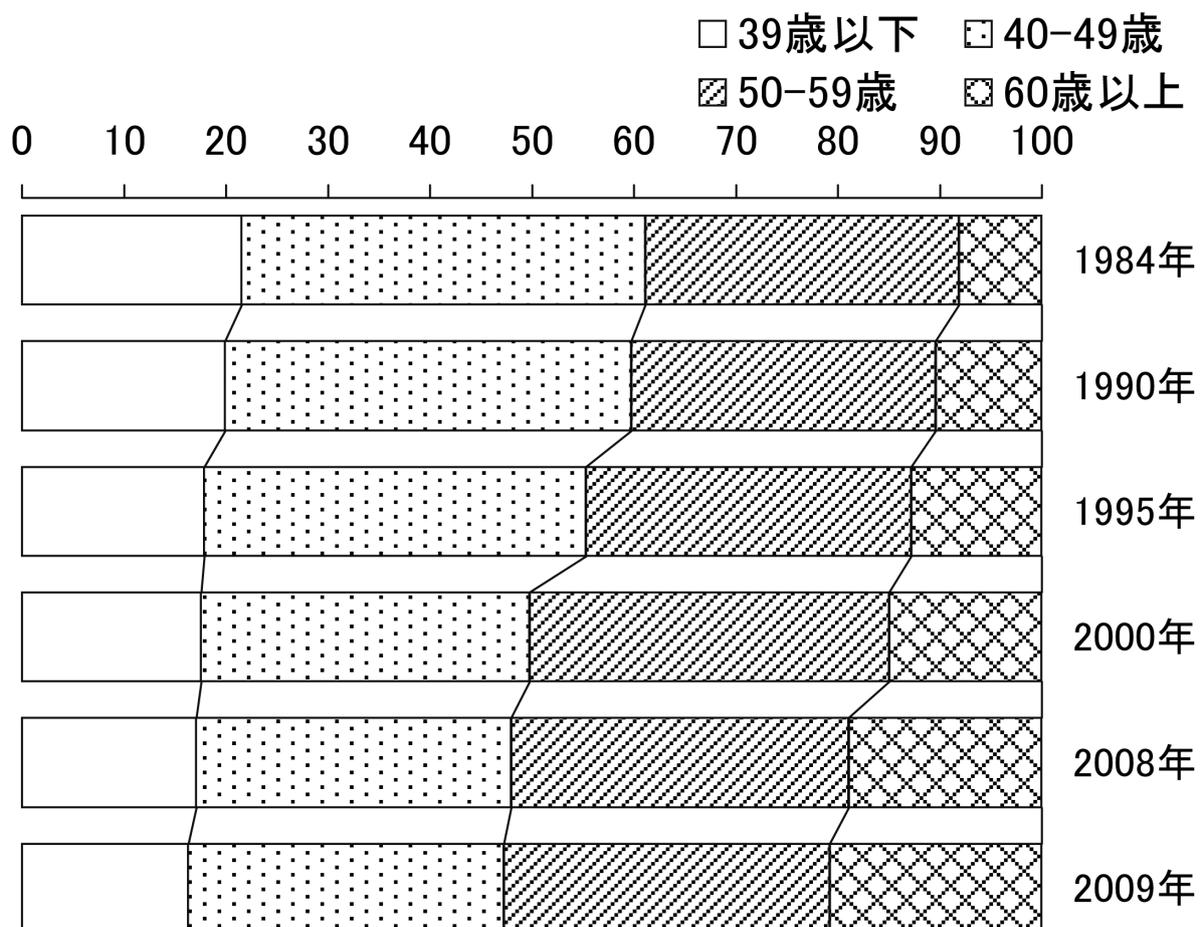
3. 人間ドック受診者の判定別・年代別総合成績（2009年）

—対象 3,008,945名—

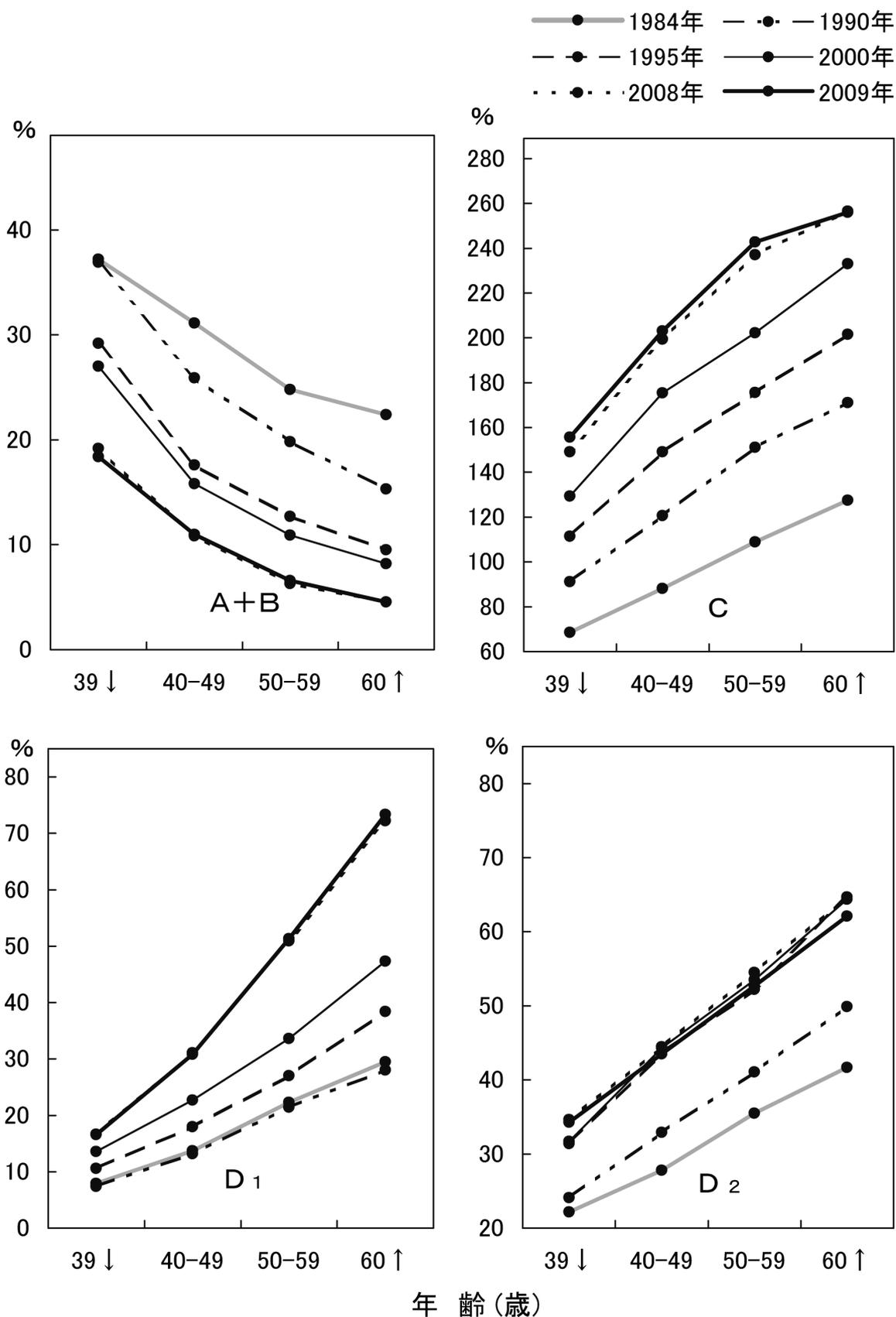


(注) C, D₁, D₂の数値は検査項目ごとの異常率の合計となっている。

4. 人間ドック受診者の年代別傾向 —年度別比較—



5. 人間ドック受診者の判定別・年代別総合成績 —年別比較—



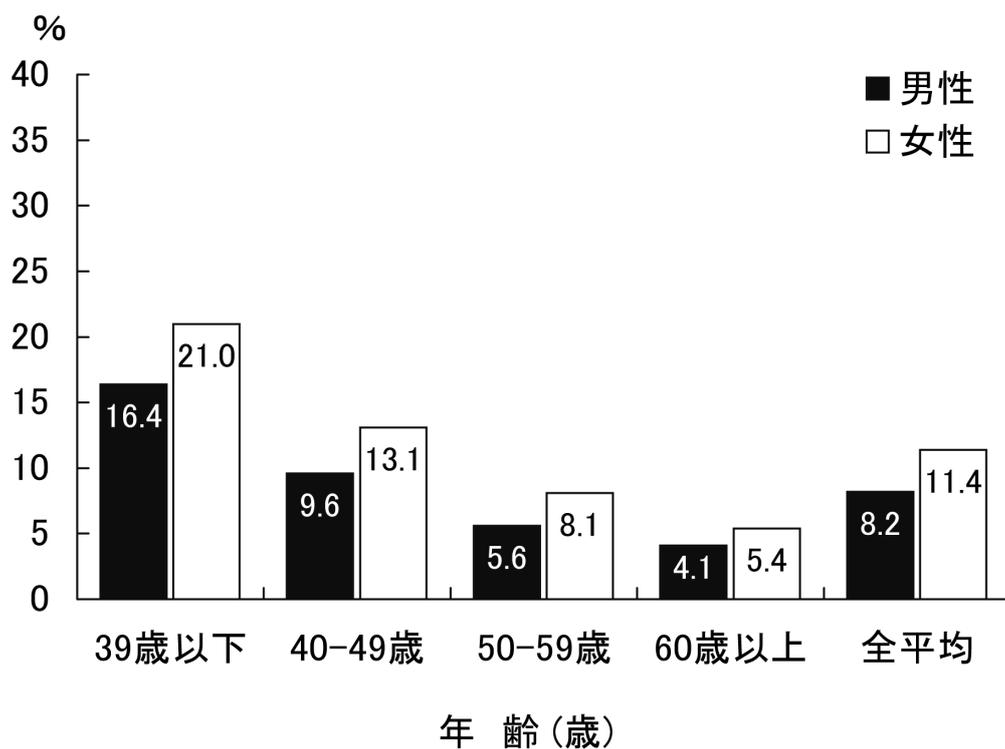
(注) C, D₁, D₂の数値は検査項目ごとの異常率の合計となっている。

6. 人間ドック受診者の判定別総合成績－性別・年代別比較－(2009年)

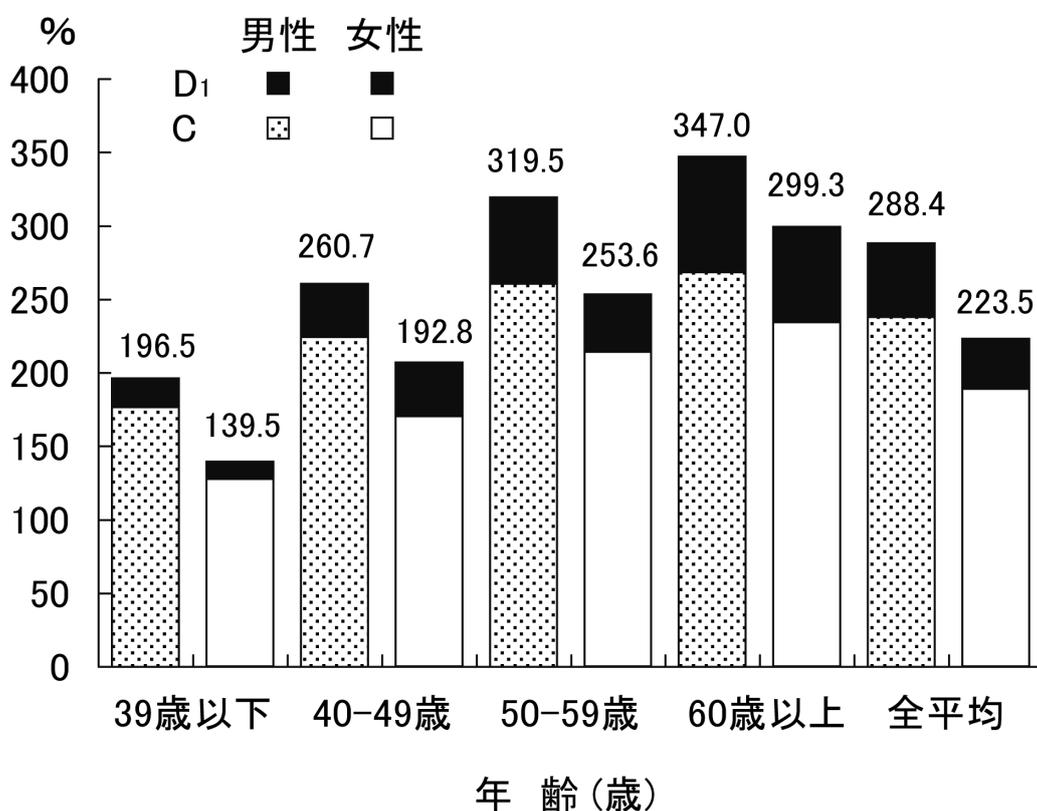
(人数)

年代別	39歳以下			40～49歳			50～59歳			60歳以上			計		
受診者数	490,265 (100.0%)	男	281,313 (100.0%)	932,663 (100.0%)	男	564,507 (100.0%)	960,841 (100.0%)	男	589,922 (100.0%)	625,176 (100.0%)	男	393,183 (100.0%)	3,008,945 (100.0%)	男	1,828,925 (100.0%)
		女	208,952 (100.0%)		女	368,156 (100.0%)		女	370,919 (100.0%)		女	231,993 (100.0%)		女	1,180,020 (100.0%)
A+B	90,060 (18.4%)	男	46,164 (16.4%)	102,497 (11.0%)	男	54,430 (9.6%)	63,340 (6.6%)	男	33,131 (5.6%)	28,508 (4.6%)	男	16,020 (4.1%)	284,405 (9.5%)	男	149,745 (8.2%)
		女	43,896 (21.0%)		女	48,067 (13.1%)		女	30,209 (8.1%)		女	12,488 (5.4%)		女	134,660 (11.4%)
C	763,496 (155.7%)	男	496,593 (176.5%)	1,894,380 (203.1%)	男	1,265,901 (224.2%)	2,331,952 (242.7%)	男	1,536,811 (260.5%)	1,600,527 (256.0%)	男	1,056,646 (268.7%)	6,590,355 (219.0%)	男	4,355,951 (238.2%)
		女	266,903 (127.7%)		女	628,479 (170.7%)		女	795,141 (214.4%)		女	543,881 (234.4%)		女	2,234,404 (189.4%)
D ₁	81,107 (16.5%)	男	56,393 (20.0%)	287,401 (30.8%)	男	206,061 (36.5%)	493,243 (51.3%)	男	347,810 (59.0%)	458,558 (73.3%)	男	308,046 (78.3%)	1,320,309 (43.9%)	男	918,310 (50.2%)
		女	24,714 (11.8%)		女	81,340 (22.1%)		女	145,433 (39.2%)		女	150,512 (64.9%)		女	401,999 (34.1%)
D ₂	168,117 (34.3%)	男	99,655 (35.4%)	405,659 (43.5%)	男	254,158 (45.0%)	506,300 (52.7%)	男	328,970 (55.8%)	388,201 (62.1%)	男	256,302 (65.2%)	1,468,277 (48.8%)	男	939,085 (51.3%)
		女	68,462 (32.8%)		女	151,501 (41.2%)		女	177,330 (47.8%)		女	131,899 (56.9%)		女	529,192 (44.8%)

7. 年代別健常者頻度 —性別比較— (2009年)



8. 年代別異常者頻度 —性別比較— (2009年)



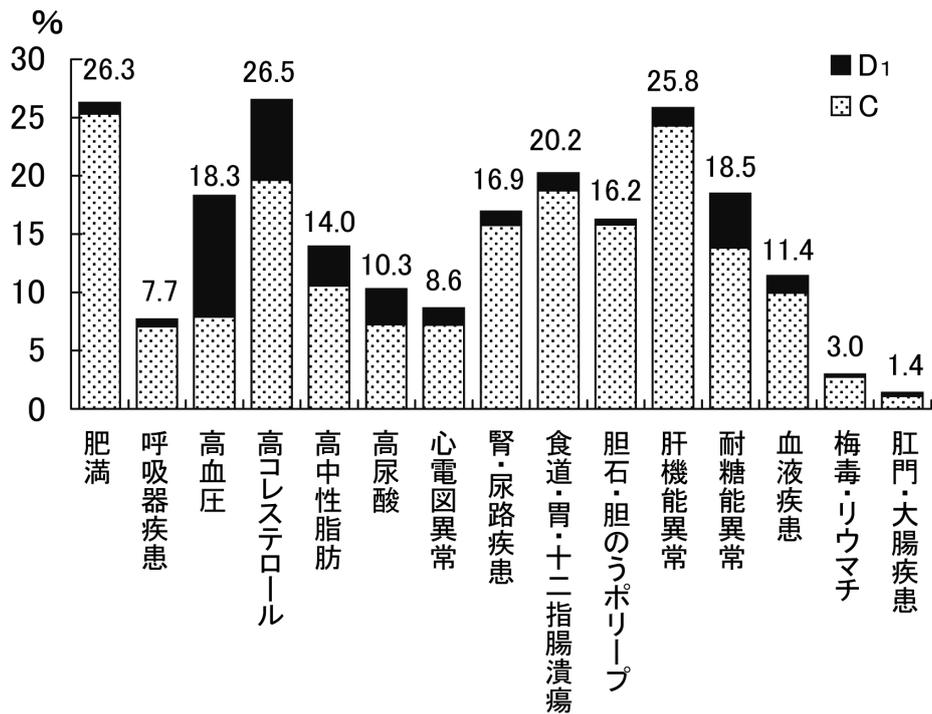
9. 人間ドック検査項目別異常者頻度 —性別比較— (2009年)

対象人員 男 1,828,925名
女 1,180,020名

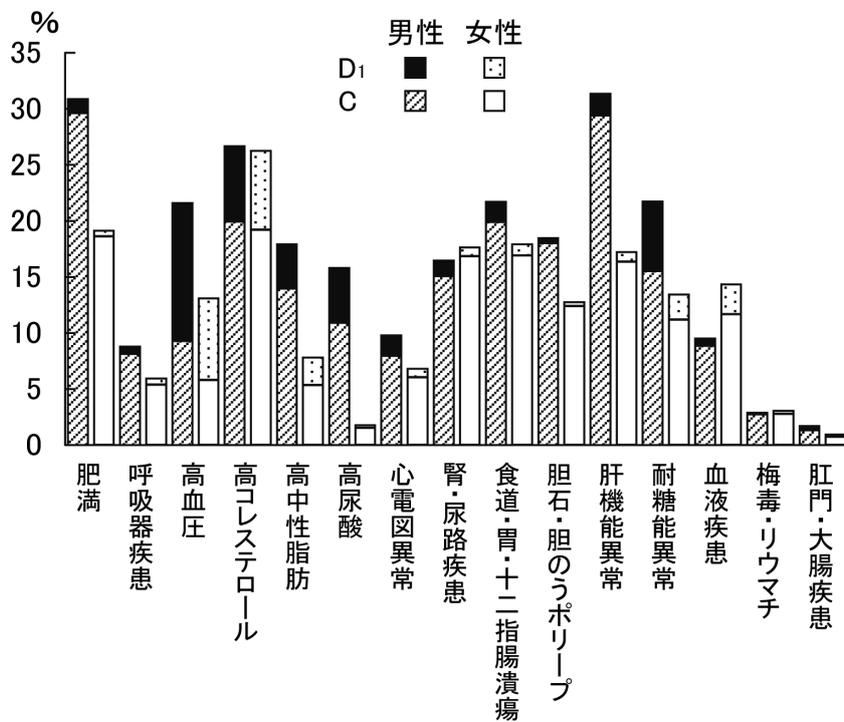
判 定	C		D ₁		計	
		男	女	男	女	男
肥 満	761,397 (25.3%)	541,604 (29.6%)	29,279 (1.0%)	23,161 (1.3%)	790,676 (26.3%)	564,765 (30.9%)
		219,793 (18.6%)		6,118 (0.5%)		225,911 (19.1%)
呼 吸 器 疾 患	212,218 (7.1%)	148,560 (8.1%)	18,901 (0.6%)	12,320 (0.7%)	231,119 (7.7%)	160,880 (8.8%)
		63,658 (5.4%)		6,581 (0.6%)		70,239 (6.0%)
高 血 圧	238,037 (7.9%)	169,568 (9.3%)	311,830 (10.4%)	225,707 (12.3%)	549,867 (18.3%)	395,275 (21.6%)
		68,469 (5.8%)		86,123 (7.3%)		154,592 (13.1%)
高コレステロール	591,567 (19.7%)	364,799 (19.9%)	206,023 (6.8%)	123,082 (6.7%)	797,590 (26.5%)	487,881 (26.7%)
		226,768 (19.2%)		82,941 (7.0%)		309,709 (26.2%)
高 中 性 脂 肪	318,644 (10.6%)	255,534 (14.0%)	101,118 (3.4%)	71,912 (3.9%)	419,762 (14.0%)	327,446 (17.9%)
		63,110 (5.3%)		29,206 (2.5%)		92,316 (7.8%)
高 尿 酸	217,551 (7.2%)	199,582 (10.9%)	92,322 (3.1%)	89,232 (4.9%)	309,873 (10.3%)	288,814 (15.8%)
		17,969 (1.5%)		3,090 (0.3%)		21,059 (1.8%)
心 電 図 異 常	217,105 (7.2%)	145,740 (8.0%)	42,621 (1.4%)	33,581 (1.8%)	259,726 (8.6%)	179,321 (9.8%)
		71,365 (6.0%)		9,040 (0.8%)		80,405 (6.8%)
腎・尿路疾患	474,556 (15.8%)	275,835 (15.1%)	34,760 (1.2%)	25,364 (1.4%)	509,316 (16.9%)	301,199 (16.5%)
		198,721 (16.8%)		9,396 (0.8%)		208,117 (17.6%)
食道・胃・十二指腸潰瘍	563,672 (18.7%)	364,170 (19.9%)	44,963 (1.5%)	32,847 (1.8%)	608,635 (20.2%)	397,017 (21.7%)
		199,502 (16.9%)		12,116 (1.0%)		211,618 (17.9%)
胆石・胆のうポリープ	476,110 (15.8%)	329,871 (18.0%)	12,442 (0.4%)	8,250 (0.5%)	488,552 (16.2%)	338,121 (18.5%)
		146,239 (12.4%)		4,192 (0.4%)		150,431 (12.7%)
肝機能異常 (脂肪肝含)	730,821 (24.3%)	537,755 (29.4%)	45,967 (1.5%)	35,977 (2.0%)	776,788 (25.8%)	573,732 (31.4%)
		193,066 (16.4%)		9,990 (0.8%)		203,056 (17.2%)
耐糖能異常	415,773 (13.8%)	283,875 (15.5%)	140,493 (4.7%)	113,935 (6.2%)	556,266 (18.5%)	397,810 (21.8%)
		131,898 (11.2%)		26,558 (2.3%)		158,456 (13.4%)
血 液 疾 患	299,204 (9.9%)	161,682 (8.8%)	43,900 (1.5%)	12,155 (0.7%)	343,104 (11.4%)	173,837 (9.5%)
		137,522 (11.7%)		31,745 (2.7%)		169,267 (14.3%)
梅毒・リウマチ	82,960 (2.8%)	50,077 (2.7%)	6,060 (0.2%)	2,881 (0.2%)	89,020 (3.0%)	52,958 (2.9%)
		32,883 (2.8%)		3,179 (0.3%)		36,062 (3.1%)
肛門・大腸疾患	32,651 (1.1%)	23,983 (1.3%)	9,441 (0.3%)	7,067 (0.4%)	42,092 (1.4%)	31,050 (1.7%)
		8,668 (0.7%)		2,374 (0.2%)		11,042 (0.9%)

(注) C…生活改善し、経過観察を要す D₁…医療を要す

10-1. 人間ドック検査項目別異常者頻度（2009年）



10-2. 人間ドック検査項目別異常者頻度—性別比較—（2009年）

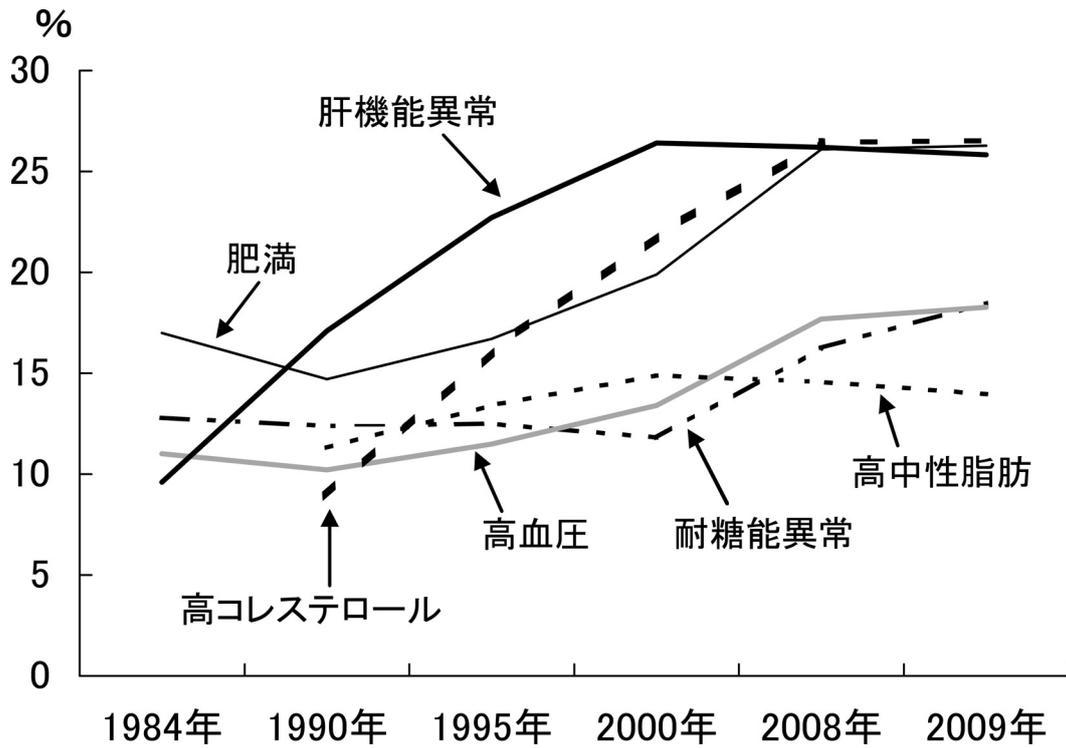


11. 6項目異常頻度 —年代別・年別比較—

分類年別		年齢		39歳以下		40～49歳		50～59歳		60歳以上		計（全平均）					
		84	90	95	00	08	09	84	90	95	00	08	09	84	90	95	00
対象人員	84	89,045名		163,944名		127,122名		33,637名		413,748名							
	90	243,227		487,834		365,661		126,764		1,223,486							
	95	396,718		833,070		708,584		284,409		2,222,781							
	00	461,812		850,601		928,881		394,410		2,635,704							
	08	502,700		914,586		975,183		559,298		2,951,767							
	09	490,265		932,663		960,841		625,176		3,008,945							
肥満	84	11,802	13.3%	27,083	16.5%	23,848	18.8%	7,560	22.5%	70,293	17.0%						
	90	29,239	12.0	67,505	13.8	60,543	16.6	21,970	17.3	179,257	14.7						
	95	59,388	15.0	135,297	16.2	123,870	17.5	52,535	18.5	371,090	16.7						
	00	84,291	18.3	171,467	20.2	186,431	20.1	81,563	20.7	523,752	19.9						
	08	112,435	22.4	244,746	26.8	271,706	27.9	141,551	25.3	770,438	26.1						
	09	111,056	22.7	249,632	26.8	272,544	28.4	157,444	25.2	790,676	26.3						
耐糖能異常	84	7,060	7.9	19,727	12.0	20,616	16.2	5,598	16.6	53,001	12.8						
	90	14,370	5.9	54,138	11.1	60,043	16.4	23,654	18.7	152,205	12.4						
	95	20,219	5.1	89,340	10.7	114,013	16.1	53,500	18.8	277,072	12.5						
	00	17,967	3.9	77,853	9.2	142,425	15.3	73,864	18.7	312,109	11.8						
	08	27,473	5.5	101,534	11.1	201,356	20.6	149,302	26.7	479,665	16.3						
	09	32,342	6.6	119,645	12.8	220,418	22.9	183,861	29.4	556,266	18.5						
高血圧	84	4,175	4.7	14,472	8.8	19,600	15.4	7,139	21.2	45,386	11.0						
	90	10,052	4.1	39,648	8.1	52,055	14.2	22,701	17.9	124,456	10.2						
	95	17,852	4.5	73,670	8.8	105,015	14.8	58,269	20.5	254,806	11.5						
	00	22,193	4.8	83,033	9.8	154,824	16.7	92,366	23.4	352,416	13.4						
	08	26,837	5.3	106,791	11.7	215,572	22.1	172,930	30.9	522,130	17.7						
	09	25,750	5.3	108,524	11.6	215,832	22.5	199,761	32.0	549,867	18.3						
高コレステロール	84																
	90	13,739	5.6	39,881	8.2	41,028	11.2	14,809	11.7	109,457	8.9						
	95	41,347	10.4	122,920	14.8	137,902	19.5	55,501	19.5	357,670	16.1						
	00	62,568	13.5	167,655	19.7	241,508	26.0	102,621	26.0	574,352	21.8						
	08	78,468	15.6	214,300	23.4	309,810	31.8	177,456	31.7	780,034	26.4						
	09	78,391	16.0	216,815	23.2	307,008	32.0	195,376	31.3	797,590	26.5						
高中性脂肪	84																
	90	21,390	8.8	56,466	11.6	46,368	12.7	14,544	11.5	138,768	11.3						
	95	43,131	10.9	114,563	13.8	101,415	14.3	38,141	13.4	297,250	13.4						
	00	53,793	11.6	131,115	15.4	148,466	16.0	58,557	14.8	391,931	14.9						
	08	52,162	10.4	131,943	14.4	161,073	16.5	84,982	15.2	430,160	14.6						
	09	48,794	10.0	126,392	13.6	153,008	15.9	91,568	14.6	419,762	14.0						
肝機能異常	84	7,581	8.5	16,306	9.9	12,812	10.1	2,971	8.8	39,670	9.6						
	90	34,087	14.0	84,302	17.3	69,068	18.9	21,492	17.0	208,949	17.1						
	95	71,723	18.1	191,178	22.9	176,893	25.0	65,351	23.0	505,145	22.7						
	00	95,444	20.7	229,390	27.0	263,514	28.4	107,389	27.2	695,737	26.4						
	08	98,490	19.6	236,903	25.9	284,863	29.2	153,369	27.4	773,625	26.2						
	09	96,268	19.6	235,269	25.2	278,449	29.0	166,802	26.7	776,788	25.8						

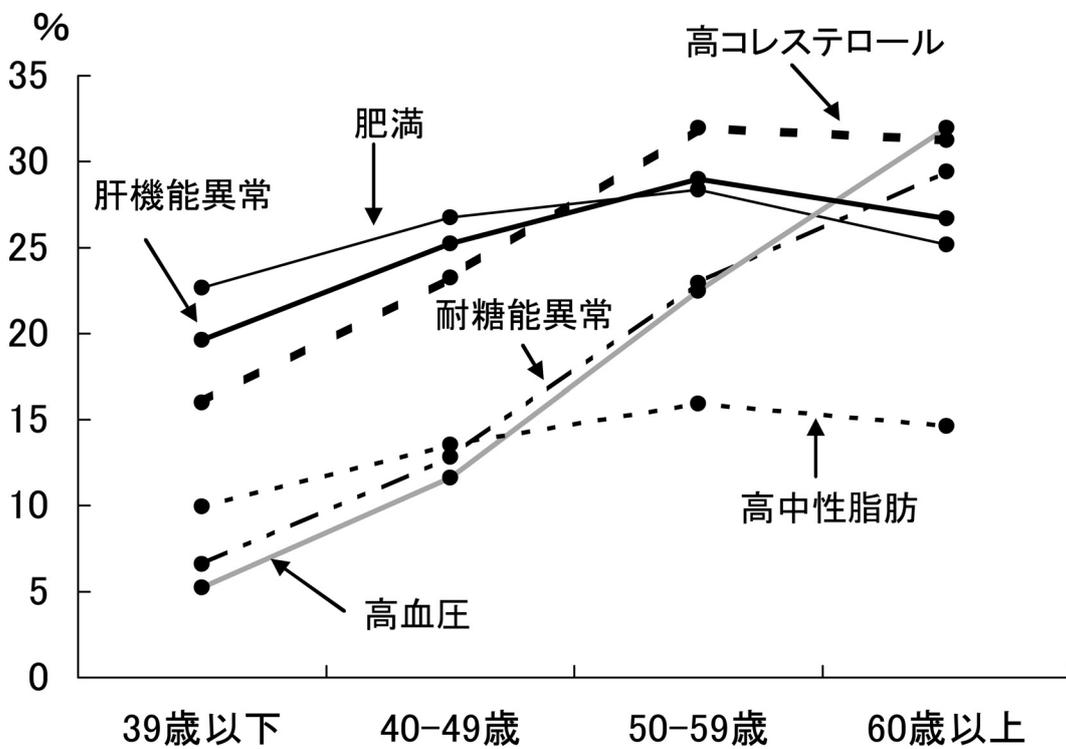
(注) '84年の「高コレステロール」と「高中性脂肪」は、分けないで高脂肪として統計をとったため、空欄とした。

12. 6項目異常頻度 一年別比較—



(注) 1984年は高中性脂肪血症と高コレステロール血症をまとめて高脂肪としたので省略。

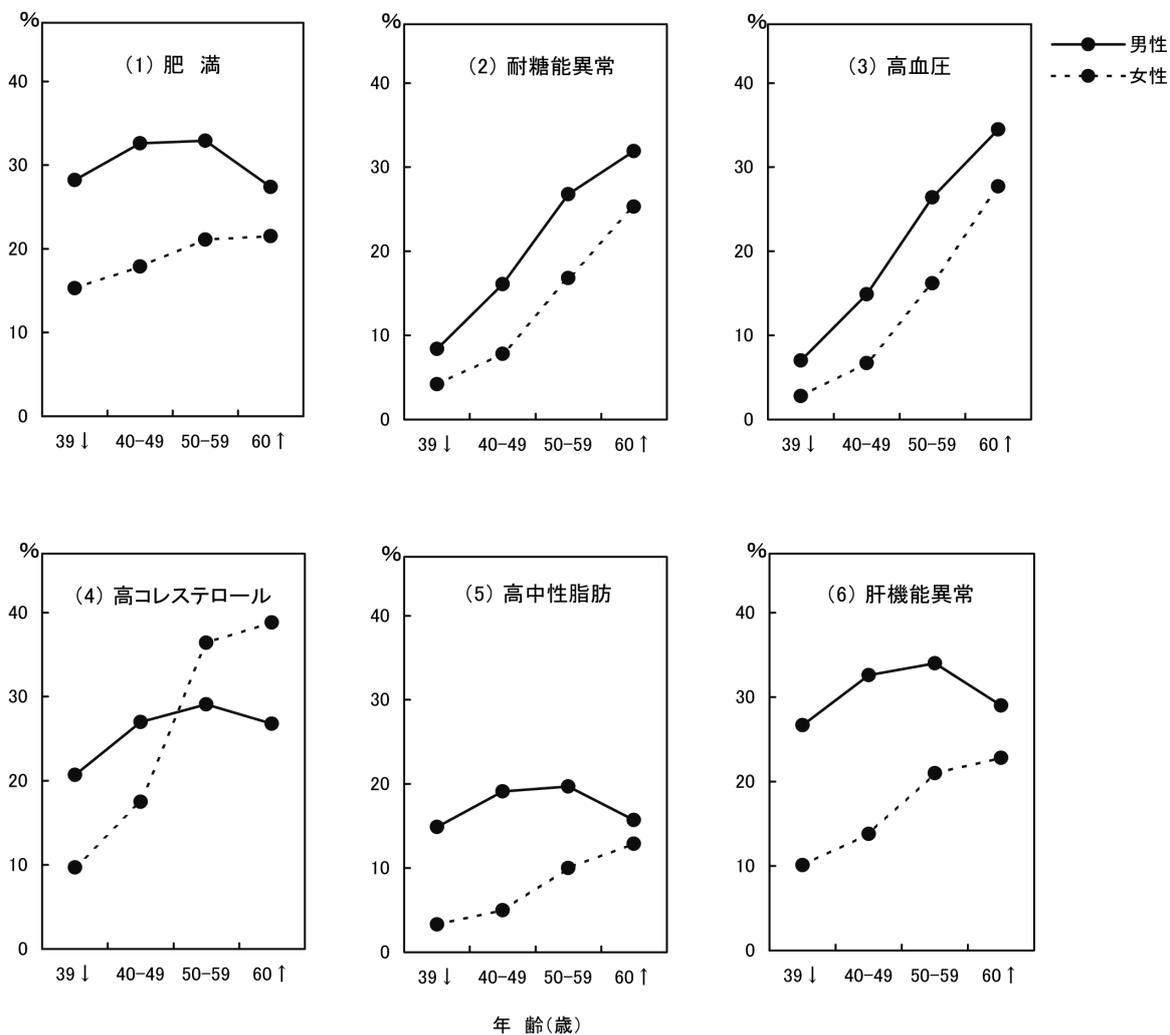
13. 6項目異常頻度 一年代別比較— (2009年)



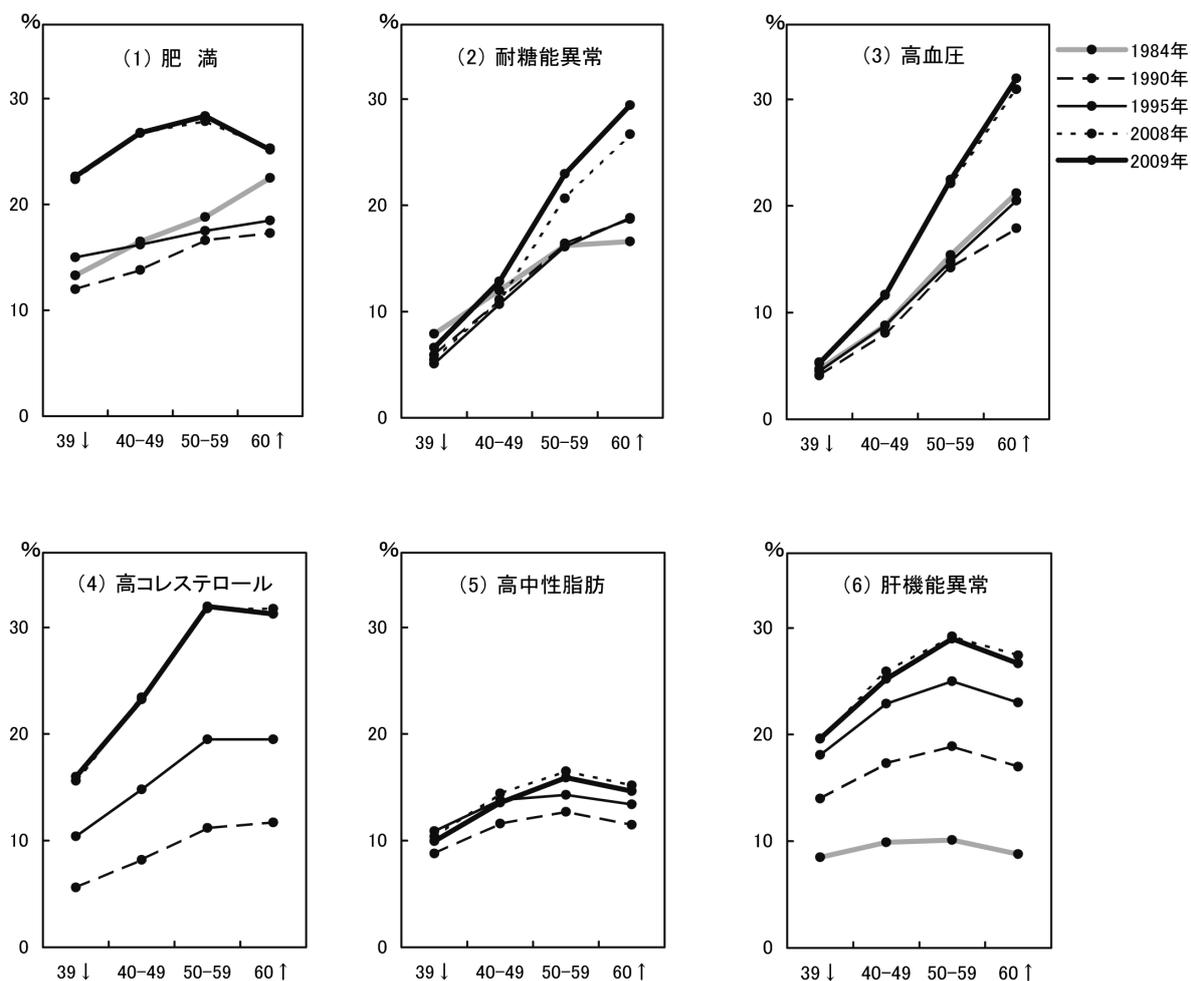
14. 6項目異常頻度 —年代別・性別比較—

年 歳		39歳以下		40～49歳		50～59歳		60歳以上		計	
対象 人員	男性	281,313名		564,507名		589,922名		393,183名		1,828,925名	
	女性	208,952		368,156		370,919		231,993		1,180,020	
肥 満	男性	79,190	28.2	183,802	32.6	194,149	32.9	107,624	27.4	564,765	30.9
	女性	31,866	15.3	65,830	17.9	78,395	21.1	49,820	21.5	225,911	19.1
耐糖能 異常	男性	23,649	8.4	90,960	16.1	157,970	26.8	125,231	31.9	397,810	21.8
	女性	8,693	4.2	28,685	7.8	62,448	16.8	58,630	25.3	158,456	13.4
高血圧	男性	19,830	7.0	83,947	14.9	155,896	26.4	135,602	34.5	395,275	21.6
	女性	5,920	2.8	24,577	6.7	59,936	16.2	64,159	27.7	154,592	13.1
高コレ ステロ ール	男性	58,198	20.7	152,383	27.0	171,934	29.1	105,366	26.8	487,881	26.7
	女性	20,193	9.7	64,432	17.5	135,074	36.4	90,010	38.8	309,709	26.2
高中性 脂肪	男性	41,892	14.9	107,887	19.1	115,948	19.7	61,719	15.7	327,446	17.9
	女性	6,902	3.3	18,505	5.0	37,060	10.0	29,849	12.9	92,316	7.8
肝機能 異常	男性	75,121	26.7	184,283	32.6	200,469	34.0	113,859	29.0	573,732	31.4
	女性	21,147	10.1	50,986	13.8	77,980	21.0	52,943	22.8	203,056	17.2

15. 6項目異常頻度 —性別・年代別比較— (2009年)



16. 6項目異常頻度 —年代別・年別比較—



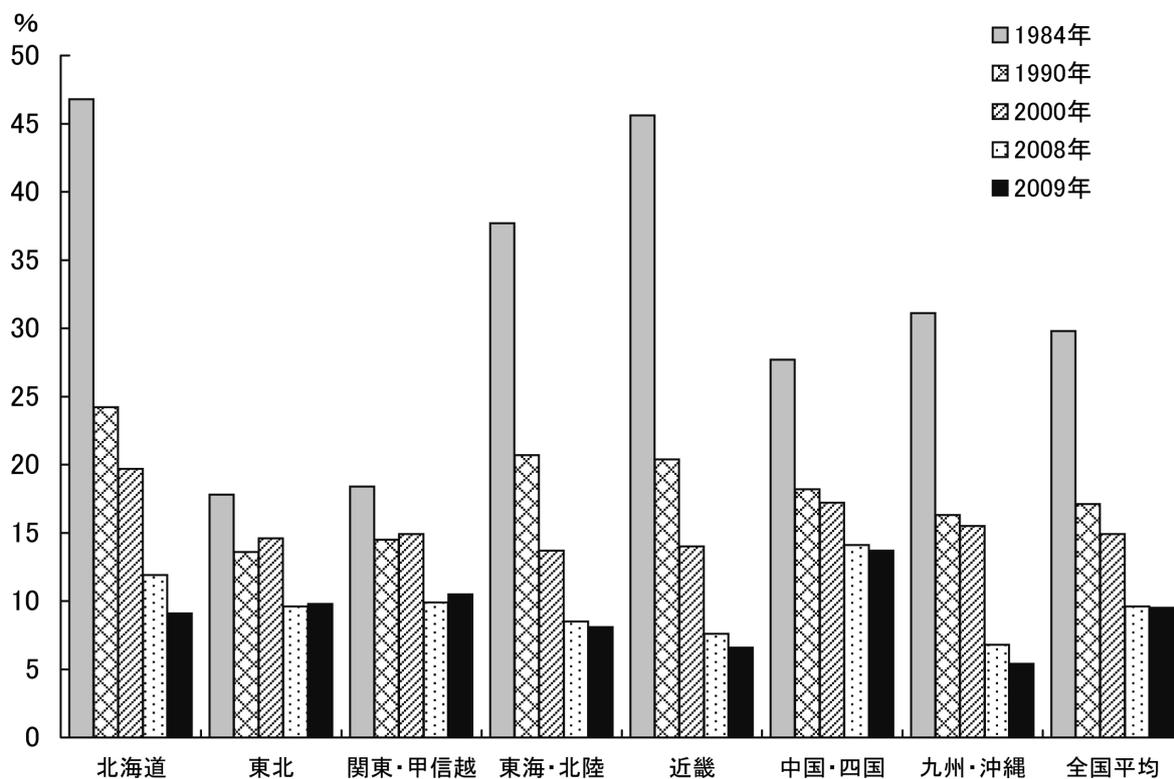
(注) '84年の「高コレステロール」と「高中性脂肪」は、分けなくて高脂肪として統計をとったため、除外した。

17. 健常者頻度の地域差 —性別・年別比較—

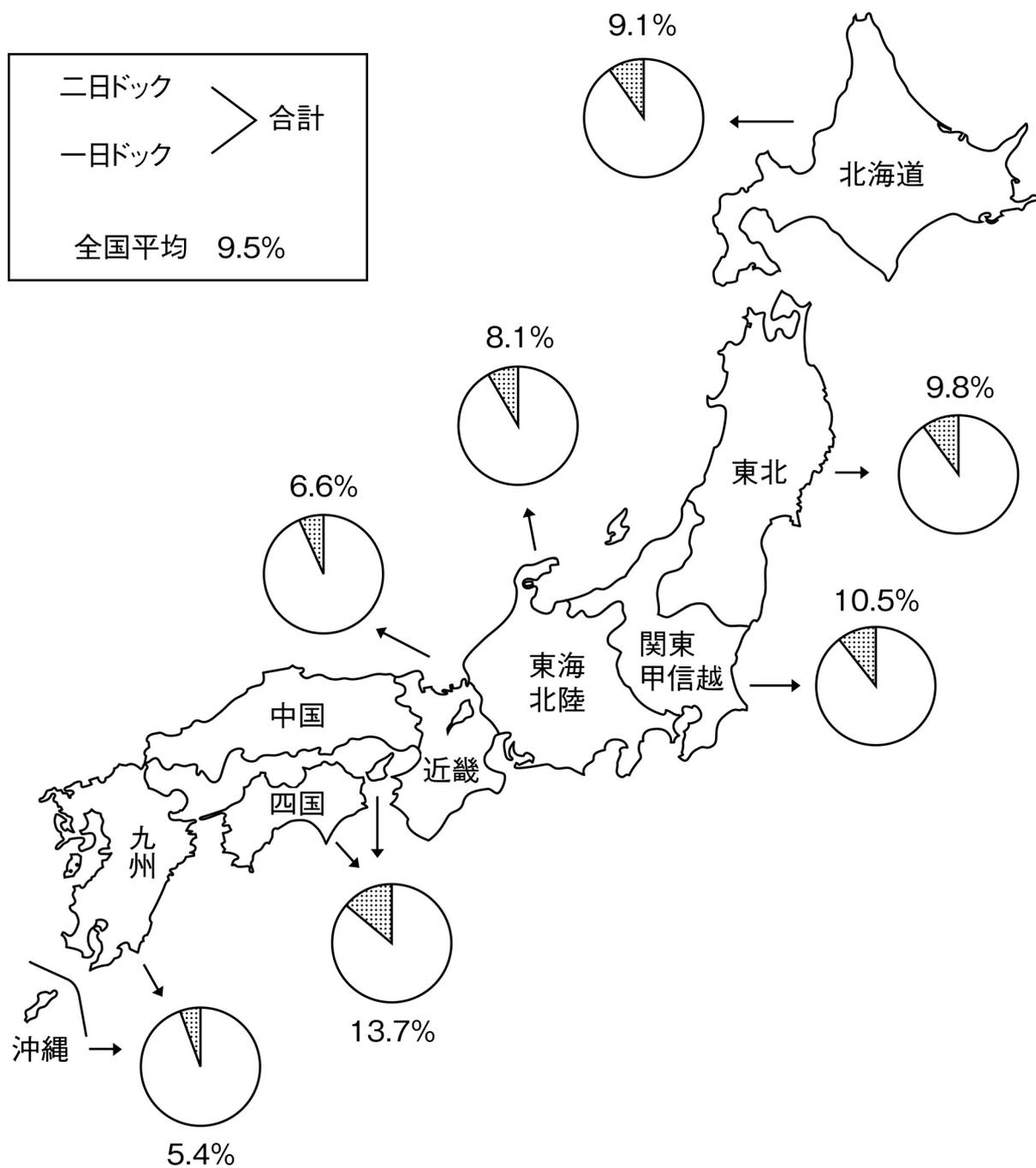
ブロック		男			女			計	
							名	%	
全国 平均	84						123,198/ 413,748	29.8	
	90	192,362/ 824,716	23.3	113,546/ 398,770	28.5	305,908/ 1,223,486	25.0		
	95	222,610/ 1,435,125	15.5	156,785/ 787,656	19.9	379,395/ 2,222,781	17.1		
	00	227,752/ 1,694,588	13.4	164,810/ 941,116	17.5	392,562/ 2,635,704	14.9		
	08	149,309/ 1,814,864	8.2	132,750/ 1,136,903	11.7	282,059/ 2,951,767	9.6		
	09	149,745/ 1,828,925	8.2	134,660/ 1,180,020	11.4	284,405/ 3,008,945	9.5		
北海道	84						3,361/ 7,181	46.8	
	90	5,386/ 16,458	32.7	2,211/ 5,175	42.7	7,597/ 21,633	35.1		
	95	6,270/ 29,891	21.0	4,167/ 13,179	31.6	10,437/ 43,070	24.2		
	00	4,002/ 24,110	16.6	3,330/ 13,031	25.6	7,332/ 37,141	19.7		
	08	3,061/ 29,455	10.4	2,592/ 18,212	14.2	5,653/ 47,667	11.9		
	09	2,231/ 31,522	7.1	2,411/ 19,547	12.3	4,642/ 51,069	9.1		
東 北	84						3,175/ 17,862	17.8	
	90	7,727/ 44,363	17.4	4,274/ 21,107	20.2	12,001/ 65,470	18.3		
	95	6,682/ 56,853	11.8	5,252/ 30,917	17.0	11,934/ 87,770	13.6		
	00	8,324/ 67,700	12.3	7,345/ 39,590	18.6	15,669/ 107,290	14.6		
	08	6,819/ 79,433	8.6	5,598/ 49,843	11.2	12,417/ 129,276	9.6		
	09	6,706/ 77,438	8.7	6,209/ 53,854	11.5	12,915/ 131,292	9.8		
関 東 ・ 甲信越	84						29,720/ 161,685	18.4	
	90	65,748/ 335,575	19.6	42,430/ 176,616	24.0	108,178/ 512,191	21.1		
	95	82,925/ 633,438	13.1	61,870/ 368,458	16.8	144,795/ 1,001,896	14.5		
	00	112,253/ 826,796	13.6	80,619/ 468,345	17.2	192,872/ 1,295,141	14.9		
	08	74,238/ 840,721	8.8	60,039/ 519,442	11.6	134,277/ 1,360,163	9.9		
	09	81,312/ 868,481	9.4	67,665/ 554,771	12.2	148,977/ 1,423,252	10.5		
東 海 ・ 北 陸	84						38,644/ 102,550	37.7	
	90	43,858/ 140,202	31.3	22,350/ 57,570	38.8	66,208/ 197,772	33.5		
	95	50,869/ 262,791	19.4	30,154/ 128,147	23.5	81,023/ 390,938	20.7		
	00	31,125/ 257,432	12.1	20,713/ 121,149	17.1	51,838/ 378,581	13.7		
	08	21,860/ 289,397	7.6	15,312/ 148,308	10.3	37,172/ 437,705	8.5		
	09	18,861/ 286,288	6.6	16,610/ 152,683	10.9	35,471/ 438,971	8.1		
近 畿	84						32,834/ 71,984	45.6	
	90	37,748/ 142,692	26.5	23,357/ 68,618	34.0	61,105/ 211,310	28.9		
	95	36,937/ 202,313	18.3	26,440/ 108,432	24.4	63,377/ 310,745	20.4		
	00	30,860/ 246,052	12.5	22,845/ 138,802	16.5	53,705/ 384,854	14.0		
	08	15,274/ 256,500	6.0	17,349/ 173,038	10.0	32,623/ 429,538	7.6		
	09	14,569/ 258,091	5.6	14,430/ 179,493	8.0	28,999/ 437,584	6.6		
中 国 ・ 四 国	84						6,864/ 24,822	27.7	
	90	19,172/ 83,485	23.0	11,261/ 39,976	28.2	30,433/ 123,461	24.6		
	95	24,979/ 154,917	16.1	19,131/ 88,053	21.7	44,110/ 242,970	18.2		
	00	23,601/ 151,851	15.5	18,682/ 94,131	19.8	42,283/ 245,982	17.2		
	08	20,788/ 180,172	11.5	23,031/ 129,598	17.8	43,819/ 309,770	14.1		
	09	20,281/ 176,713	11.5	20,915/ 124,013	16.9	41,196/ 300,726	13.7		
九 州 ・ 沖 縄	84						8,590/ 27,664	31.1	
	90	12,723/ 61,941	20.5	7,663/ 29,708	25.8	20,386/ 91,649	22.2		
	95	13,948/ 94,922	14.7	9,771/ 50,470	19.4	23,719/ 145,392	16.3		
	00	17,587/ 120,647	14.6	11,276/ 66,068	17.1	28,863/ 186,715	15.5		
	08	7,269/ 139,186	5.2	8,829/ 98,462	9.0	16,098/ 237,648	6.8		
	09	5,785/ 130,392	4.4	6,420/ 95,659	6.7	12,205/ 226,051	5.4		

(注) '84年は、男女別統計は実施せず。

18. 健常者頻度の地域差 —年別比較—



19. 健常者頻度の地域差（2009年）

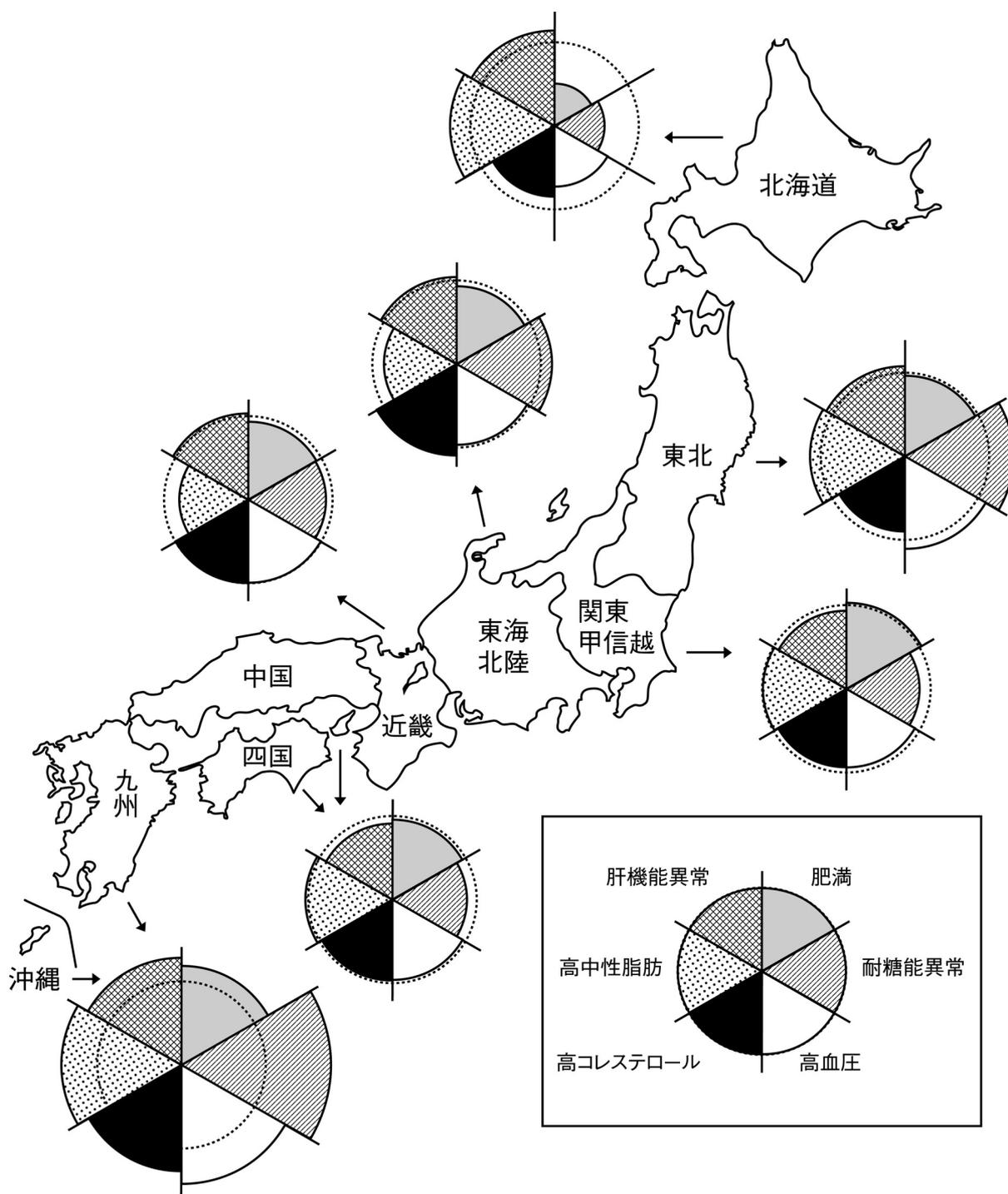


20. 6項目異常頻度の地域差（2009年）

項目別 ブロック別	肥満	耐糖能異常	高血圧	高コレステロール	高中性脂肪	肝機能異常	6項目合計 平均値
全国平均	26.3%	18.5%	18.3%	26.5%	14.0%	25.8%	21.6%
	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
北海道	13.4	11.0	13.4	22.6	17.4	29.6	17.9
	51.0	59.5	73.2	85.3	124.3	114.7	84.7
東北	25.6	23.9	20.4	24.0	15.8	28.0	23.0
	97.3	129.2	111.5	90.6	112.9	108.5	108.3
関東 ・ 甲信越	27.1	16.1	17.3	25.0	13.9	24.1	20.6
	103.0	87.0	94.5	94.3	99.3	93.4	95.3
東海 ・ 北陸	24.7	21.0	17.8	29.2	12.1	27.0	22.0
	93.9	113.5	97.3	110.2	86.4	104.7	101.0
近畿	24.8	17.1	18.3	26.6	11.5	26.8	20.9
	94.3	92.4	100.0	100.4	82.1	103.9	95.5
中国 ・ 四国	25.4	16.4	17.7	25.8	14.5	23.6	20.6
	96.6	88.6	96.7	97.4	103.6	91.5	95.7
九州 ・ 沖縄	31.5	32.9	26.2	33.9	20.0	33.3	29.6
	119.8	177.8	143.2	127.9	142.9	129.1	140.1

(注) 全国平均値を100として、各ブロック別の%を表示。

21. 6項目異常頻度の地域差（2009年）



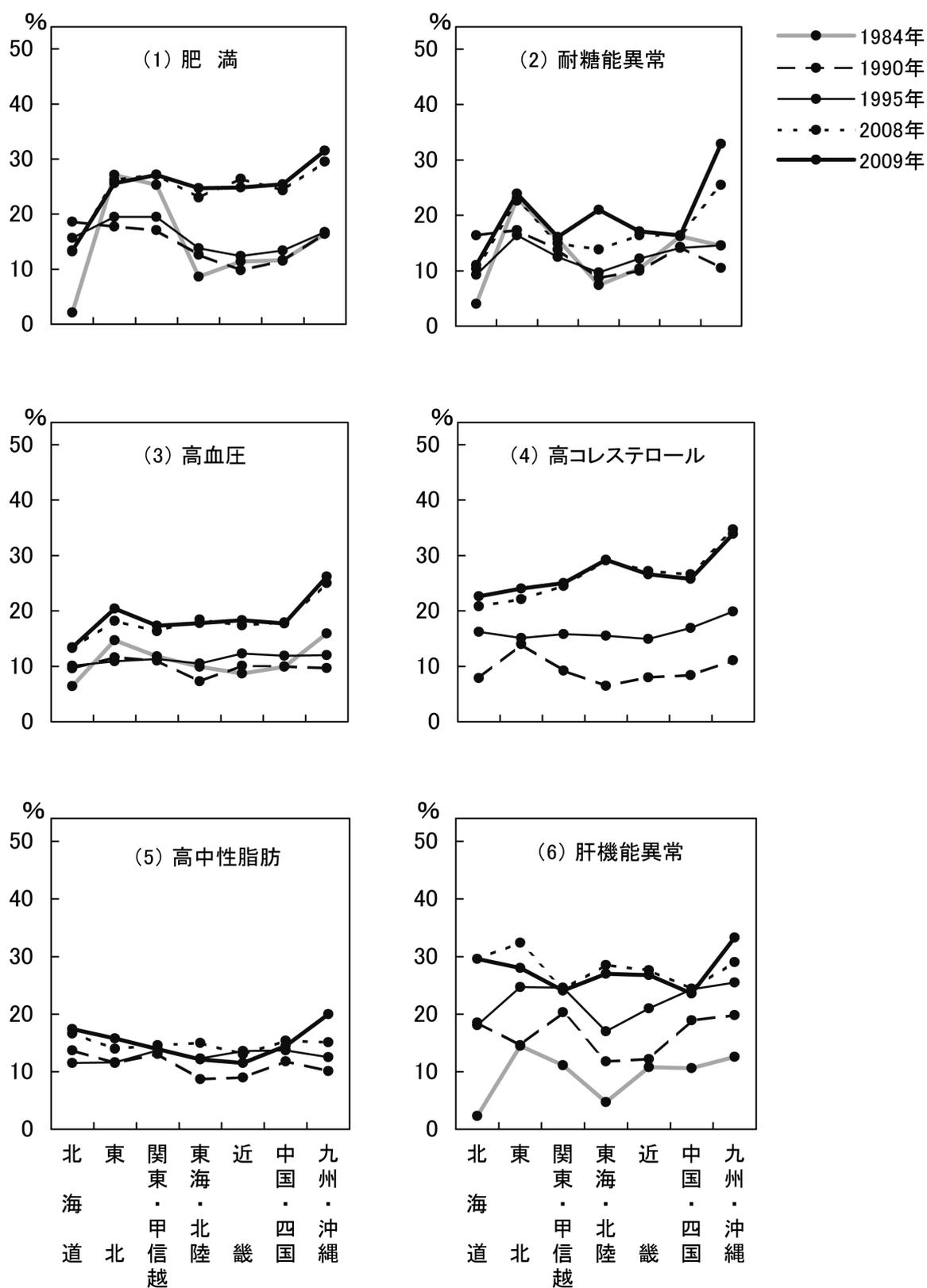
(注) 円グラフは6項目異常頻度の
全国平均を100%として図示

22. 6項目異常頻度の地域差 一年別比較

項目別		肥 満	耐糖能異常	高血圧	高コレステロール	高中性脂肪	肝機能異常	6項目合計 平均 値
ブロック別・年別								
全国平均	84	17.0%	12.8%	11.0%			9.6%	
	90	14.6	12.3	10.1	8.9%	11.2%	17.0	12.4%
	95	16.6	12.4	11.3	16.0	13.3	22.6	15.4
	00	19.8	11.7	13.3	21.7	14.8	26.3	17.9
	08	26.1	16.3	17.7	26.4	14.6	26.2	21.2
	09	26.3	18.5	18.3	26.5	14.0	25.8	21.6
北海道	84	2.1	4.0	6.4			2.3	
	90	18.6	16.4	9.6	7.9	13.7	18.5	14.1
	95	15.7	9.3	10.1	16.2	11.5	18.1	13.5
	00	20.8	9.3	10.6	18.8	14.8	20.1	15.7
	08	13.2	10.4	13.3	20.8	16.6	29.6	17.3
	09	13.4	11.0	13.4	22.6	17.4	29.6	17.9
東 北	84	27.1	23.1	14.7			14.5	
	90	17.7	17.3	11.6	14.0	11.5	14.6	14.5
	95	19.5	16.4	10.9	15.1	11.6	24.7	16.4
	00	23.2	12.8	15.6	20.6	11.7	29.8	19.0
	08	26.2	22.6	18.2	22.1	14.0	32.4	22.6
	09	25.6	23.9	20.4	24.0	15.8	28.0	23.0
関 東 ・ 甲信越	84	25.3	15.7	11.8			11.1	
	90	17.1	13.8	11.0	9.2	13.1	20.3	14.1
	95	19.5	12.5	11.3	15.8	13.7	24.6	16.2
	00	20.7	11.2	12.5	21.2	14.3	25.7	17.6
	08	27.2	14.9	16.3	24.5	14.6	24.3	20.3
	09	27.1	16.1	17.3	25.0	13.9	24.1	20.6
東 海 ・ 北 陸	84	8.6	7.4	9.9			4.7	
	90	12.6	8.7	7.3	6.5	8.7	11.8	9.3
	95	13.8	9.7	10.5	15.5	12.3	17.0	13.1
	00	19.8	10.1	14.9	24.5	17.2	25.6	18.7
	08	23.0	13.8	18.4	29.1	15.0	28.5	21.3
	09	24.7	21.0	17.8	29.2	12.1	27.0	22.0
近 畿	84	11.4	10.4	8.7			10.8	
	90	9.8	10.0	10.1	8.0	9.0	12.2	9.9
	95	12.4	12.2	12.3	14.9	13.6	21.0	14.4
	00	15.8	12.9	13.8	21.9	15.3	25.8	17.6
	08	26.4	16.4	17.4	27.2	13.0	27.6	21.3
	09	24.8	17.1	18.3	26.6	11.5	26.8	20.9
中 国 ・ 四 国	84	11.6	16.2	9.9			10.6	
	90	11.5	14.3	10.0	8.4	11.8	18.9	12.5
	95	13.4	14.1	11.9	16.9	13.7	24.3	15.7
	00	19.7	12.5	13.0	20.5	14.4	29.0	18.2
	08	24.3	16.4	17.9	26.6	15.4	24.4	20.8
	09	25.4	16.4	17.7	25.8	14.5	23.6	20.6
九 州 ・ 沖 縄	84	16.4	14.5	15.9			12.6	
	90	16.5	10.5	9.7	11.1	10.1	19.8	13.0
	95	16.7	14.6	12.0	19.9	12.5	25.5	16.9
	00	19.6	15.8	14.3	21.9	14.4	29.1	19.2
	08	29.5	25.5	25.0	34.7	15.1	29.0	26.5
	09	31.5	32.9	26.2	33.9	20.0	33.3	29.6

(注) '84年の「高コレステロール」と「高中性脂肪」は、分けなくて高脂肪として統計をとったため、空欄とした。

23. 6項目異常頻度の地域差 —年別比較—



(注) '84年の「高コレステロール」と「高中性脂肪」は、分けなくて高脂肪として統計をとったため、除外した。

24. 6項目異常頻度の地域差 —性別比較— (2009年)

項目別 ブロック別・性別		肥 満	耐糖能異常	高血圧	高コレステ ロール	高中性脂肪	肝機能異常	6項目合計 平 均 値
全国平均	男性	30.9	21.8	21.6	26.7	17.9	31.4	25.0
	女性	19.1	13.4	13.1	26.2	7.8	17.2	16.2
北海道	男性	16.0	14.3	16.3	23.8	21.2	36.6	21.4
	女性	9.3	5.6	8.8	20.6	11.3	18.3	12.3
東 北	男性	28.7	26.5	24.0	23.9	20.3	33.7	26.2
	女性	21.0	20.1	15.4	24.3	9.3	19.9	18.3
関 東 ・ 甲信越	男性	31.6	19.2	20.6	24.9	18.0	29.4	23.9
	女性	20.2	11.3	12.0	25.2	7.4	15.8	15.3
東 海 ・ 北 陸	男性	29.2	24.0	20.8	30.3	14.6	31.0	25.0
	女性	16.2	15.3	12.0	27.1	7.3	19.6	16.2
近 畿	男性	29.8	20.9	22.0	26.3	15.7	33.7	24.8
	女性	17.5	11.5	12.9	26.9	5.5	16.7	15.2
中 国 ・ 四 国	男性	30.9	20.4	21.3	26.7	19.4	30.3	24.9
	女性	17.4	10.6	12.6	24.6	7.6	14.0	14.5
九 州 ・ 沖 縄	男性	36.8	36.5	29.4	33.8	24.3	39.6	33.4
	女性	24.2	28.1	21.8	34.0	14.3	24.6	24.5

26. 6項目異常頻度 —ブロック別・県別人数— (2009年)

項目別 ブロック別・ 県別 受診者数		肥 満	耐糖能異常	高 血 圧	高コレステ ロール	高中性脂肪	肝機能異常
全 国	3,008,945名	790,676名	556,266名	549,867名	797,590名	419,762名	776,788名
北 海 道	51,069	6,843	5,610	6,852	11,526	8,889	15,112
東 北	131,292	33,562	31,364	26,839	31,573	20,686	36,767
青 森	9,588	2,790	1,629	2,607	2,264	1,100	2,833
岩 手	23,595	6,832	7,119	5,302	6,007	5,661	7,374
宮 城	40,601	10,364	5,525	5,562	9,541	6,821	13,456
秋 田	19,506	2,244	6,787	5,905	5,841	1,938	4,421
山 形※	9,163	2,699	4087	1,678	1847	1,320	2,069
福 島	28,839	8,633	6,217	5,785	6,073	3,846	6,614
関東・甲信越	1,423,252	386,172	228,997	245,734	355,867	197,852	343,111
茨 城	101,716	37,187	18,727	20,298	21,495	10,516	13,745
栃 木	43,225	15,102	8,911	7,589	13,878	5,001	9,106
群 馬	71,780	20,610	9,640	14,957	15,532	14,247	18,922
埼 玉	96,764	24,745	11,794	16,956	24,289	15,564	27,048
千 葉	167,615	47,357	37,260	26,658	43,456	22,986	49,326
東 京	527,230	133,009	78,150	88,749	131,826	71,489	126,226
神 奈 川	259,580	61,808	30,635	35,297	55,490	33,534	57,652
新 潟	76,670	22,464	16,062	17,119	29,998	10,874	22,227
山 梨	37,966	8,131	7,897	9,313	11,003	8,081	6,568
長 野	40,706	15,759	9,921	8,798	8,900	5,560	12,291
東 海 ・ 北 陸	438,971	108,324	91,983	77,963	128,047	53,062	118,550
富 山※	4,594	1,311	769	1,024	1,436	663	1,850
石 川	19,162	4,615	4,663	3,206	4,941	2,522	5,245
福 井	16,492	4,452	2,799	3,551	3,639	2,411	6,625
岐 阜	51,680	11,120	5,731	8,422	14,020	3,927	12,520
静 岡	140,910	37,310	40,939	31,142	40,958	19,151	46,447
愛 知	168,837	38,949	32,550	25,617	49,005	20,095	39,725
三 重	37,296	10,567	4,532	5,001	14,048	4,293	6,138
近 畿	437,584	108,312	74,620	79,943	116,200	50,268	117,122
滋 賀	14,603	4,142	2,281	2,447	3,423	1,621	3,953
京 都	91,022	17,163	18,086	23,216	21,733	9,583	25,123
大 阪	288,551	75,072	47,133	48,034	77,096	31,325	71,182
兵 庫	28,606	8,155	5,255	3,368	9,069	5,444	10,748
奈 良※	7,180	1,555	547	784	2,622	1200	3,289
和 歌 山※	7,622	2,225	1318	2,094	2,257	1,095	2,827
中 国 ・ 四 国	300,726	76,256	49,284	53,334	77,709	43,701	70,870
鳥 取※	5,823	1,500	746	1,497	92	30	1,100
島 根※	2,093	954	415	592	644	348	1,018
岡 山	76,182	16,949	10,324	15,626	15,750	8,116	14,117
広 島	94,089	27,836	16,627	14,501	27,711	10,718	24,096
山 口	32,381	4,360	5,675	4,479	6,545	3,917	9,753
徳 島	27,478	5,170	3,909	2,262	7,035	6,873	3,704
香 川	19,861	5,771	3,560	3,758	5,229	1,745	4,484
愛 媛	18,447	5,373	3,388	3,483	5,573	3,348	6,784
高 知	24,372	8,343	4,640	7,136	9,130	8,606	5,814
九 州 ・ 沖 縄	226,051	71,207	74,408	59,202	76,668	45,304	75,256
福 岡	95,207	30,828	16,143	17,767	32,433	14,000	33,636
佐 賀※	102	21	3	15	10	11	52
長 崎※	5,652	1438	492	1068	1,928	893	1689
熊 本	49,539	12,714	24,935	13,347	14,574	11,789	16,952
大 分	38,931	11,846	20,858	16,790	16,412	11,427	10,838
宮 崎※	3,551	1,367	395	1,036	581	904	660
鹿 児 島	13,111	4,428	8,091	3,683	4,572	3,752	3,095
沖 縄	19,958	8,565	3,491	5,496	6,158	2,528	8,334

(注) 受診者 10,000 名以下は※。

27. 6項目異常頻度 —ブロック別・県別比較— (2009年)

項目別 ブロック別・県別	肥 満	耐糖能異常	高 血 圧	高コレステ ロ ー ル	高中性脂肪	肝機能異常	6項目合計平均値
全 国	26.3%	18.5%	18.3%	26.5%	14.0%	25.8%	21.6%
北 海 道	13.4	11.0	13.4	22.6	17.4	29.6	17.9
東 北	25.6	23.9	20.4	24.0	15.8	28.0	23.0
青 森 ※	29.1	17.0	27.2	23.6	11.5	29.5	23.0
岩 手	29.0	30.2	22.5	25.5	24.0	31.3	27.1
宮 城	25.5	13.6	13.7	23.5	16.8	33.1	21.0
秋 田	11.5	34.8	30.3	29.9	9.9	22.7	23.2
山 形 ※	29.5	44.6	18.3	20.2	14.4	22.6	24.9
福 島	29.9	21.6	20.1	21.1	13.3	22.9	21.5
関 東・甲 信 越	27.1	16.1	17.3	25.0	13.9	24.1	20.6
茨 城	36.6	18.4	20.0	21.1	10.3	13.5	20.0
栃 木	34.9	20.6	17.6	32.1	11.6	21.1	23.0
群 馬	28.7	13.4	20.8	21.6	19.8	26.4	21.8
埼 玉	25.6	12.2	17.5	25.1	16.1	28.0	20.8
千 葉	28.3	22.2	15.9	25.9	13.7	29.4	22.6
東 京	25.2	14.8	16.8	25.0	13.6	23.9	19.9
神 奈 川	23.8	11.8	13.6	21.4	12.9	22.2	17.6
新 潟	29.3	20.9	22.3	39.1	14.2	29.0	25.8
山 梨	21.4	20.8	24.5	29.0	21.3	17.3	22.4
長 野	38.7	24.4	21.6	21.9	13.7	30.2	25.1
東 海・北 陸	24.7	21.0	17.8	29.2	12.1	27.0	22.0
富 山 ※	28.5	16.7	22.3	31.3	14.4	40.3	25.6
石 川	24.1	24.3	16.7	25.8	13.2	27.4	21.9
福 井	27.0	17.0	21.5	22.1	14.6	40.2	23.7
岐 阜	21.5	11.1	16.3	27.1	7.6	24.2	18.0
静 岡	26.5	29.1	22.1	29.1	13.6	33.0	25.6
愛 知	23.1	19.3	15.2	29.0	11.9	23.5	20.3
三 重	28.3	12.2	13.4	37.7	11.5	16.5	19.9
近 畿	24.8	17.1	18.3	26.6	11.5	26.8	20.9
滋 賀	28.4	15.6	16.8	23.4	11.1	27.1	20.4
京 都	18.9	19.9	25.5	23.9	10.5	27.6	21.1
大 阪	26.0	16.3	16.6	26.7	10.9	24.7	20.2
兵 庫	28.5	18.4	11.8	31.7	19.0	37.6	24.5
奈 良 ※	21.7	7.6	10.9	36.5	16.7	45.8	23.2
和 歌 山 ※	29.2	17.3	27.5	29.6	14.4	37.1	25.9
中 国・四 国	25.4	16.4	17.7	25.8	14.5	23.6	20.6
鳥 取 ※	25.8	12.8	25.7	1.6	0.5	18.9	14.2
島 根 ※	45.6	19.8	28.3	30.8	16.6	48.6	31.6
岡 山	22.2	13.6	20.5	20.7	10.7	18.5	17.7
広 島	29.6	17.7	15.4	29.5	11.4	25.6	21.5
山 口	13.5	17.5	13.8	20.2	12.1	30.1	17.9
徳 島	18.8	14.2	8.2	25.6	25.0	13.5	17.6
香 川	29.1	17.9	18.9	26.3	8.8	22.6	20.6
愛 媛	29.1	18.4	18.9	30.2	18.1	36.8	25.3
高 知	34.2	19.0	29.3	37.5	35.3	23.9	29.9
九 州・沖 縄	31.5	32.9	26.2	33.9	20.0	33.3	29.6
福 岡	32.4	17.0	18.7	34.1	14.7	35.3	25.4
佐 賀 ※	20.6	2.9	14.7	9.8	10.8	51.0	18.3
長 崎 ※	25.4	8.7	18.9	34.1	15.8	29.9	22.1
熊 本	25.7	50.3	26.9	29.4	23.8	34.2	31.7
大 分	30.4	53.6	43.1	42.2	29.4	27.8	37.8
宮 崎 ※	38.5	11.1	29.2	16.4	25.5	18.6	23.2
児 島	33.8	61.7	28.1	34.9	28.6	23.6	35.1
沖 縄	42.9	17.5	27.5	30.9	12.7	41.8	28.9

(注) 受診者10,000人以下は※。

人間ドックの検査項目別成績のまとめ（1～27）

1. ～2. 2009年の人間ドックについて、各検査項目ごとの判定別集計成績を年代別に示した総合成績表です。更に年別の比較も行いました。
3. A + B（異常なし）は加齢と共に減少し、全平均は9.5%で前年とほぼ同率です。従って人間ドック受診者の90.5%に何等かの異常を認めたことになります。
異常頻度は加齢と共に上昇し、C（要経過観察）が過半数を示しています。
（注） 異常頻度は各項目ごとの異常率の合計であり、個別に複合のケースが多いためC判定は100%を越えています。
4. アンケート調査による受診者の年代別傾向をみますと、今回は50歳代>40歳代>60歳代以上>30歳以下の順で前年と同じ傾向です。年別の比較では、1996年以後は40歳代と50歳代が逆転し、さらに60歳以上の受診者の割合が増加傾向を示しています。
5. 年代別の判定別集計について、年ごとに比較をしました。異常のない人は各年代共にほぼ同じ傾向で加齢と共に低下し、今回は総ての年代で、前年と同じパターンを示しています。異常者は前年に比し、C（要経過観察）が60歳以上を除いて各年代共に増加し、D₁（要医療）は各年代共に前年とほぼ同率です。
6. ～8. 年代別健常者頻度を性別で比較しますと、各年代共に男性より女性の割合が高く、全平均では3.2%の隔差があります。
年代別異常頻度を性別に比較しますと、各年代共に男性より女性の割合が低い傾向を示しています。
9. ～10. 項目別に異常頻度を比較しますと、高コレステロールが26.5%と最も高く、次いで肥満、肝機能異常となり、以下、食道・胃・十二指腸潰瘍、耐糖能異常、高血圧、腎・尿路疾患、胆石・胆のうポリープ、高中性脂肪の順で、前年より若干の変動があります。
更に性別の比較を行ってみますと、男性では肝機能異常が31.4%と高く、次いで肥満、高コレステロール、耐糖能異常、食道・胃・十二指腸潰瘍、高血圧、胆石・胆のうポリープ、高中性脂肪の順です。
一方、女性では高コレステロールが最も高く26.2%を占め、次いで、肥満、食道・胃・十二指腸潰瘍、腎・尿路疾患、肝機能異常、血液疾患、耐糖能異常、高血圧、胆石・胆のうポリープの順で、男性と順位が異なっています。男性より異常頻度の高い項目は、腎・尿路疾患と血液疾患、梅毒・リウマチのみです。
11. ～12. ライフスタイルに関連の深い6項目について、年別、年代別の比較を行いました。
6項目異常頻度を年別に比較してみますと、高中性脂肪、肝機能異常を除いては前年より総ての項目で増加しています。

13. 年代別比較では、肝機能異常、肥満、高コレステロール、高中性脂肪は50歳代をピークとして60歳以上は下降傾向を示しており、高血圧と耐糖能異常は加齢と共に上昇傾向を示し、前年と同じ傾向を示しています。

14. ~15. 6項目異常頻度を年代別・性別に比べますと、前年とほぼ同じパターンを示しています。

高コレステロールは、50歳代以後に女性の異常率が急上昇して、男性と逆転していますが、その他の5項目では、各年代共に男性の異常頻度が女性より高くなっています。

また、女性は加齢と共に異常頻度が上昇していますが、男性は耐糖能異常と高血圧以外は、いずれも40~50歳代以降は下降傾向を示しています。

16. 年代別にみた6項目異常頻度について年別に比較しました。各年共に同じパターンであり、肝機能異常と高中性脂肪、高コレステロールは50歳代をピークとして以後下降傾向を示しています。年別に比較すると、耐糖能異常は各年代共に前年より高めですが、肝機能異常、高中性脂肪は各年代共に低めです。その他の項目は前年と同じ傾向です。

17. ~18. 健常者頻度の地域差を年別に比較しますと、東北、関東・甲信越地方はやや増加、その他の地域は前年より低下しています。特に北海道地方の低下が顕著です。

19. 健常者頻度の地域差をみますと、全国平均9.5%を上回っている地域は、東北、関東・甲信越、中国・四国地方であり、九州・沖縄、近畿、東海・北陸、北海道地方は平均以下です。

20. ~21. 6項目異常頻度の地域差を比較しますと、6項目異常合計平均値が全国平均を下回っている地域は、北海道、関東・甲信越、近畿と中国・四国地方です。

22. ~23. 6項目異常頻度の年別比較では、6項目ともほぼ同じパターンを示しています。

1984年に東日本と西日本で二峰性を示す項目が、肥満、耐糖能異常、肝機能異常でしたが、近年は地域差が減少しています。そして、今回のパターンは、前年とほぼ同じ傾向を示していますが、九州・沖縄地方で高コレステロール以外の5項目の増加が目立っています。

24. ~25. 6項目異常頻度の地域差を性別で比較してみますと、高コレステロールのみ性差が明らかではありません。その他の5項目はいずれの地域でも男性より女性が低く、また男女の地域差のパターンも同じ傾向を示しています。

26. ~27. 6項目異常項目について、ブロック別、都道府県別に人数および異常頻度を一括表示しました。全国の6項目合計平均値は21.6%で前年とほぼ同率、そして全国平均より健康度の悪い県は27県で、前年より4県減少しています。

ただし、都道府県別の受診者数のバラツキが大きいので、必ずしも健康度の評価と一致いたしません。したがって、参考資料にとどめてください。

まとめと今後の目標

■人間ドック・健診の現況と質の向上をめざして

公益社団法人日本人間ドック学会・社団法人日本病院会による指定病院および指定施設と機能評価認定施設の現況について、2009年の調査結果について報告します。

2010年1月現在で二日ドック指定病院数は424で前年より26減少、一日ドック指定施設数も97と25減少していますが、機能評価認定施設が前年より19施設増えて244に達しました。その結果、今回の項目別人間ドック集計対象人数は前年より約6万人増加し、301万人となりました。人間ドック健診機能評価認定施設は、殆どが一日と二日ドックを行っているので、コース別に分類して調査を行いました。また、総合がん検診で発見した症例報告数は7,307例で、前年より129例増加しています。

このように社会環境の変化に改善のきざしが見えないにもかかわらず、人間ドック受診者数が増加傾向を示しているのは、健康意識の向上が影響しているように感じられます。また発見がん症例数も前年より増加し、人間ドック健診施設の質的向上がうかがわれました。

■人間ドックの総合がん検診とその意義

日本人の2人に1人はがんに罹患し、3人に1人はがんで死亡している現状です。死因のトップを占めているがん死亡率を今後10年以内に20%減少を目標に、2007年4月より国はがん対策基本法を施行。その柱のひとつに「がん検診の強化」が掲げられました。住民を対象とした「対策型がん検診」は、特定臓器に限定しています。それに対し、人間ドックは「個別型がん検診」で、オプション検査を含めて全臓器を対象とした「総合型検診」であります。

人間ドックで発見されるがんのトップは胃がんであり、次いで大腸がんです。両方を合せると25年前は全発見がんの約70%を占めていましたが、今回の調査では約46%と年々減少傾向を示しています。

その理由は、その他のがんが年々増加し、特に男性では前立腺がん、女性では乳がんが著しく増えたためです。

その対策としては、50歳以上の男性に対してPSA検査、40歳以上の女性には乳房エコー検査やマンモグラフィーを基本検査項目に導入する必要があります。

人間ドックで最も発見頻度の高い胃と大腸がんについては、早期がんの占める割合が71～79%前後です。胃と大腸がんの9割近くが手術を実施しており、特に大腸がん手術例中内視鏡的切除が年々増加して7割近くを占め、二次予防の有用性を実証することが出来ました。

今後は、ハイリスクグループの選別による有効的な検診を行い、更なる発見率の向上が期待されます。具体的には、喫煙者に対する胸部CT検査の導入です。また、人間ドック

受診者数の多い施設では、ピロリ菌抗体（HP）検査と血清ペプシノゲン（PG）法により胃内視鏡検査を選択することが有効な方法です。

さらに、PET、CT、MRIと各種腫瘍マーカーによる多臓器総合診断を目的とする「がん専門ドック」が普及して行くと思われます。

健康度の悪化とその理由

1984年に人間ドックの全国集計を始めて驚いたことは、狭い日本の中で健康度の地域差が大きいことでした。その後26年間の経年変化をみますと、地域差が次第に縮小してきました。その理由は、かつて健康度の良いと言われていた地域が次第に悪化の傾向をたどり、地域特性が失われてしまったことです。

その結果、働き盛りの日本人の健康度は年々悪くなり、健常者が人間ドック受診者全体に占める割合は1984年の29.8%から、2009年は9.5%と20.3%も減ってしまいました。

今回の調査では、減り続けた健常者の割合が前年に比べほぼ横ばいとなりました。

前回の調査では、ライフスタイルに関係の深い6項目（肥満、耐糖能異常、高血圧、高コレステロール、高中性脂肪、肝機能異常）の中で高中性脂肪を除いては、いずれも異常頻度の増加が認められました。ところが、今回は、耐糖能異常、高血圧の異常頻度が増加、高中性脂肪と肝機能異常が減少し、ばらつきが見られるようになりました。健康度が改善しない理由としては、次の4項目が考えられます。

1. 専門学会による病態識別値の採用

近年、相次いで日本動脈硬化学会、日本高血圧学会、日本糖尿病学会、日本肥満学会、日本痛風・尿酸代謝学会などが検査値のガイドラインを発表し、特定健診の判定値としても採用されました。日本人間ドック学会でも、専門学会の基準に沿った判定基準を作成しています。肥満の判定は体格指数（BMI）に加え腹囲を採用し、血圧・脂質・血糖も、従来の基準値より厳しくなっています。

2. 人間ドック受診者の高齢化

人間ドックの普及に伴い、全国調査によれば反復受診者の割合は全受診者の70～80%を占めるようになりました。その結果、人間ドック受診者の平均年齢が40歳代から50歳代へと移行し、さらに60歳以上の受診者が年々増加しています。

3. 社会環境の悪化

百年に一度と言われる経済不況により大企業や銀行関係の倒産や吸収合併が発生し、サラリーマンのリストラや出向、単身赴任も増えています。その余波は中小企業にも及び、経済はデフレ化の傾向が進展し改善のきざしがみえません。このような社会環境の変化は、有形・無形に心のバランスを失い、ストレスがうつ病増加の原因となっていると共に、生活習慣を悪化させる引き金にもなっているのです。

4. 食習慣の欧米化と運動不足

ファーストフード店やコンビニエンス・ストアの普及により、手づくりの家庭料理を作る頻度が減少しています。結果として和食中心から、洋食や中華風の料理など嗜好が多様化し、食物の中に占める脂肪の割合が25%を越すようになり、野菜の摂取量が少なくなりました。また、交通機関の発達や車の保有台数の増加が歩行量を減らし、疲労による負担と共に、運動不足を来しています。

■メタボは生活環境病である

従来から生活習慣病は、危険因子が単一よりも複合した方が発症を促進することが国際的にも提言されていました。

1999年にWHOは、この概念はインスリン抵抗性が深く関係しているために「メタボリックシンドローム」と名付けました。

一方で2001年に米国の専門学会（NCEP：National Cholesterol Education Program）は内臓脂肪がkeyであると言ったために混乱がありましたが、命名に関してはメタボリックシンドロームに統一することが、世界的にコンセンサスを得たのです。

このような状況のもとに、2005年4月に日本版のメタボリックシンドローム診断基準が8学会の共同宣言の形で発表されました。その内容については広く一般公開されていますので詳細については省略します。

それでは、今話題になっているメタボリック症候群の発症について考えてみましょう。

図1のごとく、メタボリックシンドロームは内臓脂肪蓄積による肥満を中心に、高血圧、脂質異常、高血糖のうち2項目以上が該当する症例が診断基準となっています。

肥満の原因が食事、運動、煙草、酒、睡眠などの生活習慣の偏りによることは、多くの検証により裏付けされています。更にその偏りが発生する理由としては、地域環境、職場環境、家庭環境などの生活環境の変化により過重労働や人間関係の摩擦がストレスとなっているためと考えられます。

「メタボリックシンドローム（日本版）」の上流に1995年以来提唱してきた「ライフスタイルシンドローム」があり、さらにその源流は各種環境の悪化に基づく生活環境病であることを認識することにより、総合的な対策を立てる必要があります。

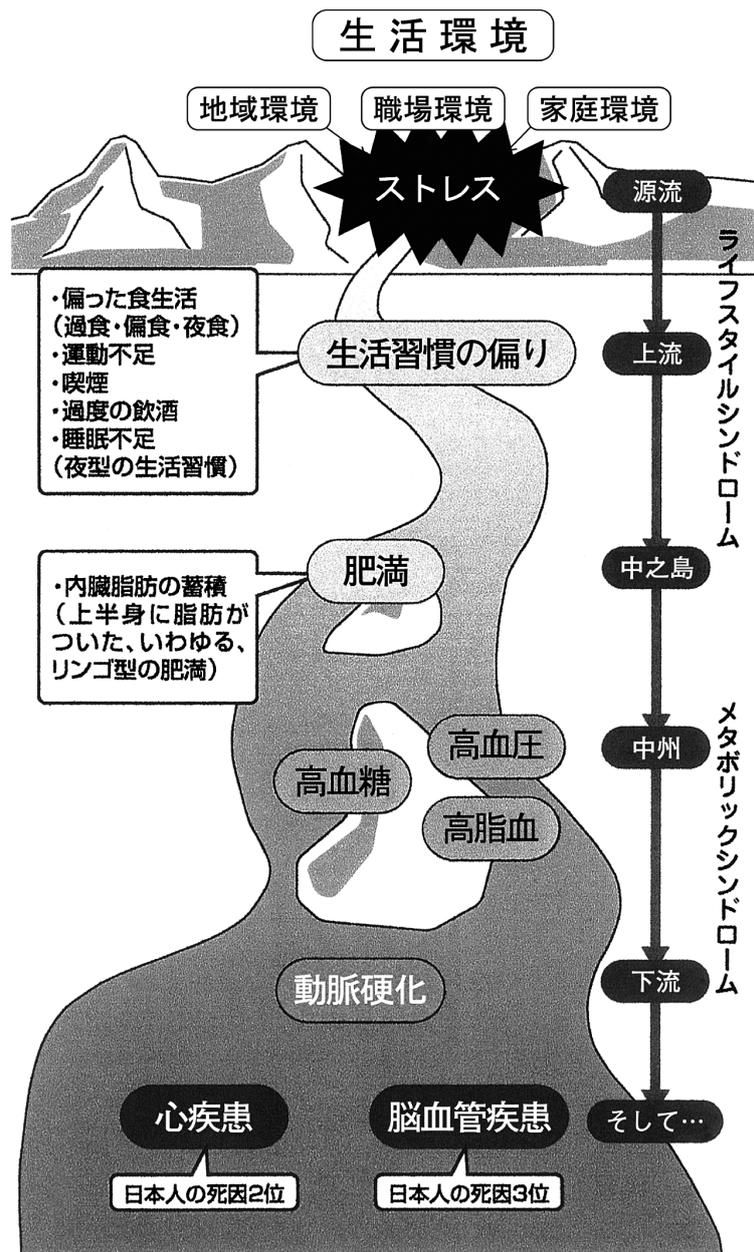


図1 メタボリックシンドロームの源流はストレス

■人間ドックの健康度改善対策

人間ドックは長い間、出来るだけ受診当日に面接して結果説明と栄養指導・保健指導を行い、さらにその成果を確認のため3～6ヵ月後のフォローアップ態勢の必要性を強調して参りました。2005年より発足した人間ドック健診機能評価制度では、認定の条件として前記の実施状況を重点項目としております。それにもかかわらず、異常頻度の増加すなわち健康度の悪化は年々増加の一途をたどっていましたが、ようやく底ばなれの気配が見え始めました。

しかし手を抜くことなく、前述した4項目についてその改善・対策を考えてみます。

1. 日本人間ドック学会の基準値は、専門学会のガイドラインを参考に厳格になっています。

特に肥満度の判定は従来体格指数（BMI）のみでしたが、メタボリックシンドロームの選別のために腹囲径を採用したことが肥満者の増加原因の一つになっていると思われます。しかし、今回は肝機能異常、高中性脂肪が前年より改善、高血圧、耐糖能異常が悪化しており、悪化の原因が単純でないことを示しています。

実際の指導にあたっては、要医療の判定であっても問診で生活習慣の偏りが著しい場合には、直ちに薬を出さずに保健指導を行い、フォローすることが大切です。データを見て人を見ずにならぬよう心掛けねばなりません。

2. 人間ドック受診者層を分析すると、今回は30歳代が減少、60歳代以上が増加していることは、異常頻度の総計に影響を及ぼすことは当然です。加齢と共に健常者が減り、異常者が増加する傾向は常に同じ結果を示しているからです。

しかし、各年代別の比較では、今回はC（要経過観察）が総ての年代で過去最悪であり、加齢の影響のみではないことが明らかです。

3. このように考えますと、健康度悪化最大の理由はメタボリックシンドロームの源流である生活環境の悪化であります。

わが国では、自殺が平成10年以来12年連続して年間3万人を超えており、自殺死亡率（人口10万人対）は世界で8番目に高く、主要8カ国（G8）の中ではロシアに次いで2位を占めています。その原因として、健康問題（仕事が出来ない等）や経済・生活問題、家庭問題が挙げられています。

厳しい生活環境のストレスに適応出来ない人に2つのタイプがあり、内向的性格の人は次第に不眠、倦怠感、食欲不振が続き、うつ病へと発展します。それに対し、外向的性格の人は、体調に変化が無く、ストレス解消として特に夜の過食・過飲の習慣が続き、結果として運動不足となり、メタボリックシンドローム→動脈硬化に基づく生活習慣病に発展するのです。

従って、メタボ該当者に対しては、うつ病と同じように当日面接によるカウンセリングが重要です。まず、一般的問診票により生活習慣の偏りを確認した後に、性格や行動パターン、生活環境（仕事の内容、労働時間、人間関係）等について傾聴し、その内容を記録します。メタボ該当者は、うつ病と反対に自覚症状が全くないのが特徴なので、ストレスによる負荷が肥満の源流であることに気付かせることが、生活習慣改善を決心する動機づけの第一歩です。

4. 保健師、管理栄養士による保健指導、栄養指導は、本人の生活習慣改善に対する意識が高まった後に行うことが、目標達成への成功率をさらに上げることとなります。

指導にあたっては、体重減量のために本人が出来ることは何かを聞き、その意思に沿ったアドバイスをすることです。そして、その効果については、3ヶ月後にメタボ関連の検査を実施、改善出来ていない人には更に3ヶ月後に追跡検査と保健指導を行い最終評価判定を行います。さらに、人間ドック受診1年後の再チェックをすすめます。

今回、初めて生活習慣問診票の中からストレスとの関連が深い喫煙について全国調査を行いました。

厚労省の国民健康・栄養調査によれば、2008年の男性喫煙率は36.8%と5年前より10%減少し、女性は9.1%とやや減少傾向を示しています（図2）。

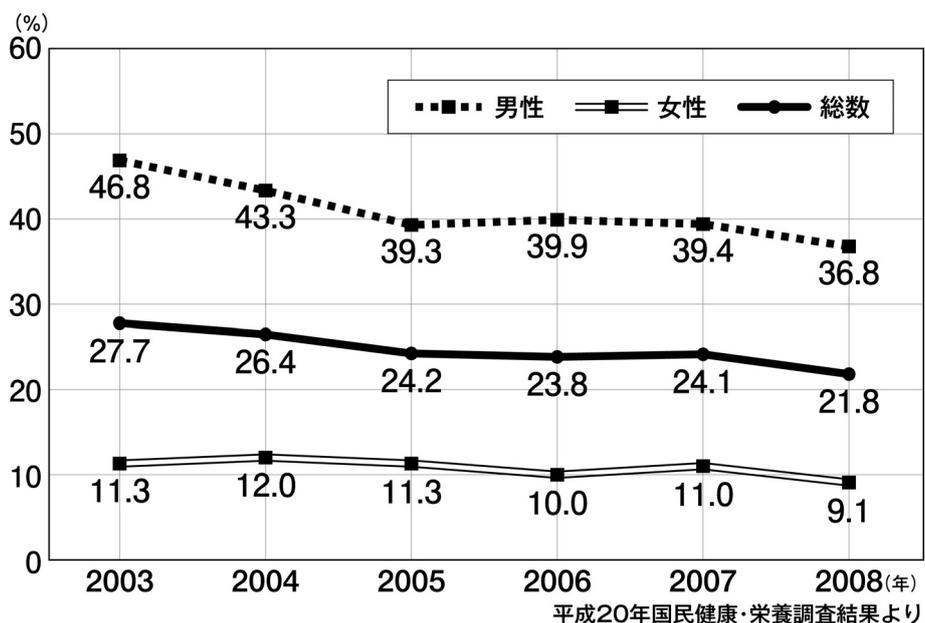


図2 国民の喫煙率について

人間ドック受診者の喫煙率は、男性が35.9%、女性が10.4%であり、厚労省調査に近似しています（図3）。この結果は、健康意識の高い人間ドック受診者と未受診者との間に喫煙習慣の面からは大きな差がないことを示しています。

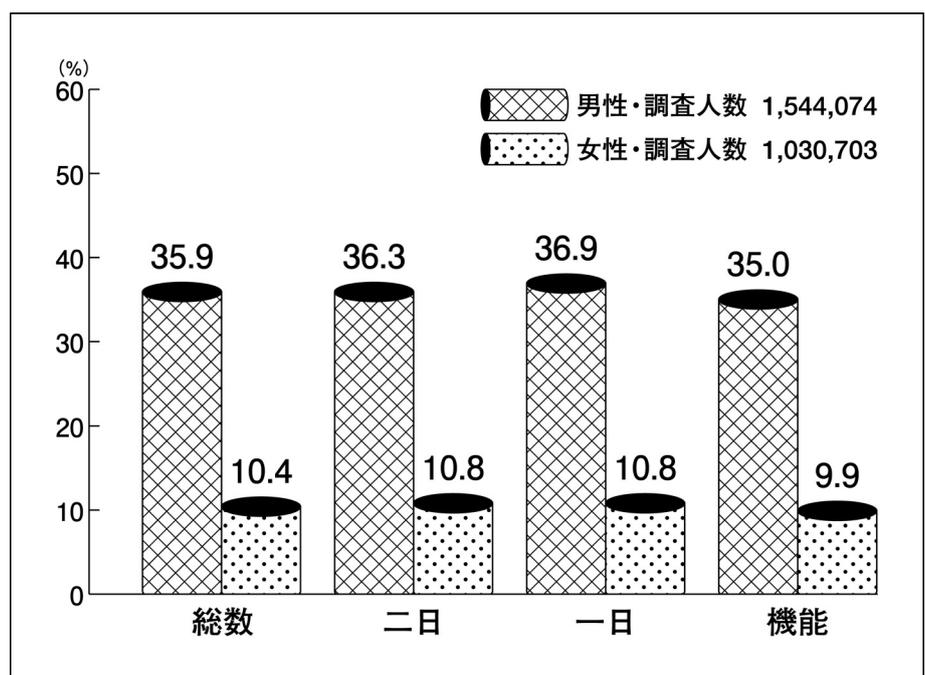


図3 人間ドック受診者の喫煙率について（2009年）

しかし、一日、二日ドック指定施設より、施設内全面禁煙が認定条件となっている人間ドック健診施設機能評価認定施設のほうが男女ともにやや低率です。個人の健康に対する関心度を高めることは大切ですが、公共施設や道路での禁煙対策がより有効であることを証明しています。

今回の人間ドック全国集計成績は、前年と比べて検査項目や地域差などに若干ばらつきが見られましたが、総合的には横ばいでした。

今後、人間ドック受診者の健康度改善のためには、生活習慣の偏りは生活環境に基づくストレスが原因であることを認識することが原点です。メンタルヘルスと同様にボディヘルスも「認知行動療法」の有効性を実証するシステムを構築し、その普及に期待します。